

第八十二回帝國議會
衆議院

日本證券取引所法案外四件委員會會議錄(速記)第四回

昭和十八年二月五日(金曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山本 厚三君

理事瀧澤 七郎君

理事山田 順策君

理事渡邊善十郎君

小笠原三九郎君

小山倉之助君

小谷 節夫君

篠原 陸朗君

鶴 惣市君

中井 一夫君

濱野 清吾君

松田 正一君

宮澤 裕君

渡邊 泰邦君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省理財局長 田中 豐君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏書記官 阪田 泰二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本證券取引所法案(政府提出)

市街地信用組合法案(政府提出)

第六類第三號 日本證券取引所法案外四件委員會會議錄 第四回 昭和十八年二月五日

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス

○中井(一)委員 此ノ際議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メタイト思ヒマス、本法案ハ我が國ノ取引所制度ニ付キマシテ、洵ニ劃期的ナ根本的ナ大改革ヲナサントスルモノデアリマス、隨ヒマシテ本法案ガ實施セラレマスル曉ニ於キマシテハ、其ノ産業經濟其ノ他各方面ニ與ヘマス影響ハ、洵ニ重大ナルモノガアルト信ズルノデアリマス、隨テ本委員會開會サレマシテ以來、多數ノ同僚諸君カラ、洵ニ傾聴スベキ御議論モアリマシタ、尙ホ今後トモ同様傾聴スベキ御議論ガアルコトト存ジマスルシ、又之ニ對シテ政府當局ノ種々貴重ナル御答辯モ承ルコトガ出來ルト思フノデアリマス、唯併シナガラ何分ニモ本法案ノ影響スル所、各方面ニ於テ重大ナルモノガアリマスガ故ニ、委員長ノ御取計ヒニ於キマシテ、質疑ガ或ル程度マデ進行致シマスルナラバ、私共委員ト政府當局ノ間ニ於キマシテ懇談のナ會合ヲ致シテ、双方胸襟ヲ開イテ、更ニ問題ノ檢討ヲ致ス機會ヲ御作リヲ願ヒタイト思フノデアリマス、委員ノ中ニハ私ト同様ナ見解ヲ持タレ方モアリマスノデ、特ニ此ノコトヲ申述ベマシテ、委員長ノ格別ノ御取計ヒヲ御願ヒ致シマス

○山本委員長 只今ノ中井君ノ御話ハ至極御尤モト思ヒマスカラ、委員長ニ於テ適當ノ機會ニ取計フコトニ致シマス——永野君

○永野委員 此ハ此ノ法案ノ審査ニ當リマシテ、三ツノ點ニ付テ政府ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス、其ノ第一ハ株價ノ形成ニ付テ、第二ハ取引所ノ機構ト取引員ノ位置、身分ニ付テ、第三ハ新取引所ノ運用ニ付テデアリマス

先ヅ第一ニ株價ノ形成問題ニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ承リタイトデアリマスガ、其ノ基礎條件トシテ、政府ハ株式證券ノ産業機構中ニ占メマス位置ニ付テ、如何ナル認識ヲ御持チデアリマスカ、之ヲ承リタイトデアリマス、ト申シマスルノハ、近時我が日本ノ産業機構ヲ、或ル場合ニハ國營ニスベキモノデアアル、又ハ營團化スルノガ理想的デアアル、或ハ之ヲ特殊法人ノ形態ヲ持タシメテ、資本ト經營ニ或ル程度ノ分離ヲ生ゼシムルコトガ、理想的ノ形態デアルト云フヤウナ議論ガ頻リニ行ハレテ居リマスルガ故ニ、先ヅ此ノ取引所ノ最も主要ナル取扱物件タル株式ニ對スル政府ノ御所見ヲ承リマスルコトガ、伺ハントスル株價ノ形成ニ關スル問題ノ前提條件トナルト信ズルカラデアリマス

○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問ハ、新取引所ノ最も重要ナル取扱ノ對象物件デアル株式ノ、産業機構中ニ於テ占ムル地位如何、其ノ前提トシテ、又企業形態ニ對スル政府ノ考ヘ方如何ト云フ御質問ト拜承致シタノデアリマスガ、企業ノ形態ニ關スルコトニ付キマシテハ、本會議ニ於テ大藏大臣カラモ御説明申上ゲテ居リマス如ク、特ニ例ヘバ營團主義デアルトカ、株式組織主義デアルトカ云フコトヲ、觀念的ニ考ヘテ居ル譯デハナク、特ニ其ノ場合ノ必要ニ依ツテ、公共的色彩ノ非常ニ濃厚ナルモノデアルトカ、或ハ事業ガ危險デアツテ、民間ノ資本ニ任スコトガ不適當ダト云ツタヤウナ、特別ノ必要アルモノニ付キマシテ、營團のナ方式ヲ採リ、或ハ所謂金庫ト云ツタヤウナ方式ヲ採ツテ居ルノデアリマスケレドモ、一般のナ産業ノ形態トシマシテハ、株式組織ニ依ル形態ガ、適當デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、全ク具體的ナ場合ニ依ツテ、營團トカ金庫トカ云フヤウナモノノ必要アル場合ニハ、其ノ方式ニ依ルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ御話ノ如ク資本ト經營ノ分離トカ、色々ナ問題ガ各方面ニ於テ論議サレテ居リマスルガ、只今私ノ申述ベマシタヤウナ考ヘノ下ニ、場合ニ依ツテ、必要アル場合ニ營團ト云フヤウナ形態ヲ採ツテ居ルニ過ギ

付託議案

日本證券取引所法案(政府提出)

(第三八號)

市街地信用組合法案(政府提出)

(第三九號)

外債償還處理法案(政府提出)

(第四〇號)

爲替交易調整特別會計設置等爲替

交易調整法案(政府提出)

(第四一號)

特殊財産資金特別會計法案(政府

提出)(第四二號)

マセヌノテ、現狀ニ於キマシテハ、一般ノ企業形態ノ基本的ナモノハ、依然トシテ株式組織デアルト考ヘテ居ル次第アリマス、之ヲ極ク最近ノ數字デ申シマス、内地全體ノ會社資本、之ニ對シマシテ營團、金庫ト云ツタヤウナ形態ヲ占メマス資本ノ「パーセンテージ」ハ、公稱資本ニ於キマシテ二・八%、三%足ラズノモノデゴザイマス、拂込資本ニ於キマシテ一・六%、二%足ラズノモノデゴザイマス、最近營團、金庫等ノ形態ガ漸ク増加シテ居リマスガ、現狀ニ於キマシテハ、マダ其ノ程度ノモノデアリマス、依然トシテ株式組織ガ企業形態ノ基本的ナモノデアリ、隨テ其ノ株式ナルモノガ産業資金調達ノ根幹、主要手段デアルト云フコトニ付キマシテハ、何等變化ガナイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ當局ニ於キマシテ、先般此ノ證券取引所ノ改革案ヲ發表致シマシテ際ニ於キマシテモ、産業資金調達手段トシテ株式ト云フモノノ最モ重視シテ、其ノ考ヘノ下ニ本證券取引所法案ヲ立案シタノデアルト云フコトヲ、聲明ニモ加ヘタヤウナ次第デゴザイマス

○永野委員 産業資本調達ノ根幹トシテ、株式ノ重要性ヲ御認メニナリマシタ以上、日本ノ情勢ガ産業設備ノ擴大ヲ日ニ々要求シテ居リマス今日、國民ヲシテ株式ニ對スル信頼ト興味ヲ持續スルコトハ、生産擴充ノ前提條件デアルト思フノデアリマス、如何ニ國民ヲシテ株式ニ興味ヲ持タシメルカト云フコトハ、一ニハ株式ヲ通ジテ事業經營ニ或程度マデ參畫シ、或ハ之ヲ監督シ得ルト云フ點デアリマスルケレドモ、一面其ノ會社ノ實績ノ向上スルニ從ツテ、株價モソレニ比例シテ値上リマスルデアラウト云フ

期待ガ、國民ノ此ノ株式ニ對スル興味ヲ持タシメル大キナ原因デアルト思フノデアリマス、然ルニ今回此ノ日本證券取引所法案ノ出現ニ依リマシテ、簡單ニ考ヘマスルト、一見此ノ二ツノ要素ヲ失ツタカノ如キ誤解ヲ餘ヘル餘地ガ生ジタノデアリマス、即チ株式ノ中デ、長年ノ花形株ト致シマシテ、最モ取引數モ多クアリマシタ各株式取引所ノ株式ガ、一朝ニシテ一種ノ營團の出資證ニ變ツテシマツタノデアリマス、之ニ對シテ何等本人ノ意見ヲ問フコトモナク、全ク寢耳ニ水ノ間ニ、經營ニ參畫スルト云フ興味ト事業ノ監督ガ出來ルト云フ安心性ヲ失ハシメタノデアリマス、更ニ第二ノ點、即チ業績ノ向上ニ依ツテ、株價ノ値上リヲ來スデアラウト云フ興味ハ、此ノ新取引所ノ機構ガ株價ノ公正ナル形成ト云フコトヲ、其ノ第一條件トシテ居リマスル點ヤ、又ハ場合ニ依ツテハ取引所自體ガ、賣買ノ相手方トナルト云フ制度ガ出現致シマシタノデ、假令内容ノ向上ハアツテモ、他ノ理由ニ依ツテ株價ノ昂騰ヲ抑止セラレルノデハナイカト云フヤウナ疑念ヲ持ツタノデアリマス、元來從來ノ觀念ニ依リマスルト、取引所ハ所謂行司デアリマシテ相撲取りデハナイノデアリマス、是ガ從來ノ取引所機構ノ觀念ノ中核ヲ成スモノデアリマシテ、此ノ第一命題ニ動搖ヲ來スト云フコトハ、餘程ノ政府ノ決意ガアルモノト看取セシムルノデアリマス、勿論今日戰爭遂行ノ爲ニハ如何ナル犧牲ヲモ忍バネバナラナイ非常時デアリマスカラ、公債消化ト云フ最大目的ノ爲ニハ、不當ニ株式市場ニ資金ガ流出スルト云フコトヲ防ガナケレバナラナイ、又過當投機ニ依ツテ國民經濟ノ堅實性ヲ失ハシメル

コトハ、嚴ニ戒メナケレバナラナイコトデアルト云フヤウナコトハ、勿論言フ俟タナイ所デハアリマスルケレドモ、一方生産力擴充資金融ヲ、株式ト云フ「ルート」ヲ通ジテ獲得スルト云フ此ノ基本方針ノ變ラナイ以上、ソコニ程度ノ問題デアリマスルケレドモ、何等カ國民ノ株式ニ對スル興味ヲ失ハシメナイ方法ヲ講ズル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、ソコデハ立法論ニ互リマスルケレドモ、私共ハ取引所ノ機能ノ第一ハ、公正ナル取引ノ圓滑化デアリマシテ、公正ナル株價ノ形式及ビ其ノ維持ハ、公正ナル取引ノ結果トシテ、自ラ生レ出ヅルモノデナルト信ズルノデアリマス、隨テ私ハ本立法ノ第一條ニ掲ゲテアリマスル三ツノ主要目的ノ順位ハ、寧ロ逆ニスベキモノデハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ第二ニハ株價ノ操作ヲ取引所自體ガスルト云フコトハ、從來ノ觀念カラ申シマスルト、先程カラ申シマスルヤウニ非常ニ重大ナコトデアリマスルカラ、出來レバ茲ニ必要ナル不安ノ念ヲ取去ル爲ニ、株價ノ操作ハ從來ノ如ク戰時金融金庫ヲシテ行ハシメ、若シ從來ノ戰時金融金庫機構ガケデ、實際上ノ操作ニ不便ヲ御感ジニナル點ガアレバ、ソレハ其ノ點ヲ御改正ニナツタラ如何カト思フノデアリマス、例ヘバ戰時金融金庫ガ、自ラ市場ニ出動スル機會ヲ持タナイカラ、第三者ヲ通ジルト云フ不便ガアルト云フノナラバ、宜シク戰時金融金庫自體ニ、特殊取引員ノ資格ヲ御與ヘニナツタラ如何カト思フノデアリマス、是ハ蠶絲取引所ニ於テ三井、三菱ニ特殊取引員ノ位置ヲ持タシメタト云フ前例モアルコトデアリマス、尙ホ私ハ只今ハ自由主義經濟時代ト異ナリマシテ、金融統制ガ完全

ニ行レテ居リマスルカラ、株式資金ノ調節ガ全ク政府ノ自由自在ナンデアリマス、又他方會社經理統制令其ノ他ノ法律ニ依リマシテ、株價決定ノ最大要素デアリマスル所ノ配當率、及ビ更ニ之ニ對スル課稅率ヲ、全ク政府ハ其ノ權限ニ收メテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ事情ノアリマスル以上、會社日本ニ出現致シマシタヤウナ株價ノ變動ト云フヤウナコトハ、決シテ起ルモノデナイト思フノデアリマス、右様ナ事情ガ私ガ先程申シマスヤウナ、不安ヲ一層深カラシメル所以デアリマス、此ノ點ニ關スル政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 只今色々御意見ヲ拜聽致シタノデアリマスガ、兎モ角結論ニ於テ株式ト云フモノヲ、産業資金調達ノ手段トシテ重視スルナラバ、之ニ對スル國民ノ信頼、興味ヲ保タシメナケレバナラナイ、然ルニ今回ノ取引所法ノ改革ハ一見國民ノ株式ニ對スル信頼ト興味ト云フモノヲ失ハシメルガ如キ誤解ヲ生ゼシメル點ガ多クアルヤウニ思フガ、之ニ對スル所見如何ト云フ御趣旨ト拜承致スノデアリマスガ、仰セノ如ク産業資金調達ノ主要手段トシマシテ、株式ヲ重視致シマスコトハ、政府ノ考ヘテ居ル所デアリマシテ、其ノ爲ニハ國民一般ガ株式ニ對シテ、御話ノ如ク十分ノ信頼感ト、又之ニ投資スル興味ト云フモノヲ持タシメナケレバナラナイト云フコトハ、御尤モナコトデゴザイマス、唯此ノ興味ト云フヤウナ點ガ、少シ度ヲ過シマス所謂過當投機トナリ、其ノ爲ニ又株式ニ對スル興味ハ増シタガ、他ノ方面ニ於テ經濟政策上ノ色々支障ガ生ズルト云フコトニ相成リマスノデ、此ノ點ニ於テモ御言葉ニアリマシタ

如ク、程度ノ問題デアリマシテ、大體ノ根本のナ考ヘ方ト致シマシテハ、全ク吾々モ同様ニ考ヘテ居ル次第アリマス、ソコデ然ラバ改革ノ如何ナル點ガ、サウ云フ誤解ヲ生ゼシメルカト云フコトデ御例示ニナリマシタ、例ヘバ當所株ガ第一ナルコト云フコト、之ニ付キマシテハ、御話ノ如ク、多年投機ノ對象トサレマシテ、株ノ代表的ナモノト云フヤウナ感じノ下ニ、之ニ各種ノ投機ガ集ツテ參ツテ居ツタ譯デゴザイマス、併シ取引所ヲ改革致シマス以上、此ノ當所株ト云フモノガ、一面ニ於テサウ云ツタ花形株ノ役目ハ果シマシタガ、又他面ニ於テ過當投機ノ對象トシテ、各種ノ弊害ヲ流シテ居ルコトハ事實デアリマシテ、取引所機構改革問題ノ根本ハ、此ノ當所株ニアリトマデ從來言ハレテ居ツタ次第デアリマス、特ニ當所株ノ存在ガ、現在ノ經濟機構ニ於テ必ズシモ必要デハナイ、弊害ノ方ガ多イ、斯ウ云フヤウナ狀況ニ於キマシテ、機構ノ改革ニ伴ヒ、當所株ト云フモノガナクナツタコトハ已ムヲ得ナイコトデアルト思フノデアリマス、此ノ半面ニ於テ御話ノ如ク、此ノ當所株ヲ所有シテ居ツタ者、或ハ賣買致シテ居ツタ者ガ、何等ノ豫告ナク斯ウ云フモノガ消エテナクナルト云フコトニ付キマシテノ御非難モアリマシタガ、先ヅ當所株ナルモノハ、國民ノ一般ノ投資物件デハナイ、是ハ少シ言過ギカモ知レマセヌガ、他ノ一般ノ株ト非常ニ性格ヲ異ニシテ、即チ産業資金ヲ調達スル爲ニハ、國民大衆ノ信賴ト、興味ヲ繋ガナケレバナラヌト云ツタヤウナ意味ニ於ケル投資ノ對象デハナカツタト、吾々ハ考ヘテ居リマス、多少當所株ガナクナルト云フコトニ付キマシテ、御

話ノヤウナ傾向モアリマセウケレドモ、此ノ爲ニ信賴ト興味ガナクナルト云フマデニ論ズベキモノデハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

第二點トシマシテ、株式價格ノ公正ナル形成ト云フヤウナ問題、或ハ新取引所ガ賣買ヲ自ラ行フト云フヤウナコトガ、國民ノ信賴ト興味ヲ失ハシメルト云フ感ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ公正ナル價格ノ形成ト云フコトニ付キマシテハ、御話ノ如ク取引所ニ於テ公正ナル、自由ナル賣買取引ヲ認メテ、其ノ需給投合ノ結果、ソコニ出來テ參ル値段ガ最モ公正ナルモノデアル、隨テ第一條ノ書キ方モ、賣買取引ヲ自由ニシテ、其ノ結果公正ナル價格ヲ作ルト云フヤウニ書イタラドウカト云フヤウナ御話モアツタ譯デアリマスガ、當局ト致シマシテモ公正ナル價格ガ如何ナルモノデアラカト云フコトニ付キマシテハ、大體ニ於テ御話ノヤウニ、取引所ニ於テ取引ガ行ハレ、而モ健全ナル、而シテ賢明ナル需給ガソコニ集リマシテ、其ノ投合ノ結果形成セラレマシタル價格ガ、公正ナルモノデアルト考ヘテ居リマス、唯、只今申上ゲマシタ如ク、其ノ需給ノ要素ガ健全デアリ、且ツ賢明デアル限リニ於キマシテハ、ソレハ會社ノ經濟實體ヲ反映シ、又其ノ時ノ國策ニ順應シタ經濟政策ト云フモノモ織込ミマシタ價格ガ出來ルモノデアルト、吾々ハ考ヘルノデアリマス、大體ニ於キマシテ自由ナル需給ノ投合ノ結果、形成セラレタル價格ガ公正ナルモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、永野委員モ御承知ノ通り、取引所ナルモノハ非常ニ過敏性ト申シマスカ、非常ニ過敏性ヲ持ツテ居リマス、又附和雷同

性ト申シマスカ、サウ云ツタ性格ヲ本來ノ性格トシテ取引所ハ備ヘテ居ルノデアリマス、自由ナル需給ノ投合ノ結果、形成セラレタル値段ガ公正デアルト申シマシテモ、是ハ此ノ過敏性ト雷同性トノ爲ニ、時ニ行キ過ギルト云フコトハ往々ニシテ從來モアリマシタコトデゴザイマス、斯ウ云ツタヤウナ場合ガ出テ來ルコトガ、即チ取引所ノ弊害デアルトシテ、今回改革ヲセナケレバナラスト云フコトニナリマシタ主要ナル原因デゴザイマス、隨テ取引所ニ於ケル投機ガ過當ニナリ、或ハ其ノ結果、需給ノ投合ニ依ツテ拵ヘラレタル價格ト云フモノガ、或ハ非常ニ高過ギタリ、安過ギタリスルコトハ好マシクナイ次第デアリマシテ、斯ウ云フ値ガ出來ナイヤウニ、取引所ノ機構運營、或ハ總テノソレニ伴フ色々ナ條件ヲ改革シヨウト云フノガ、今回ノ目的デアリマス、其ノ爲ニ從來自由自在ニ幾ラデモ過當投機ニ走り得タ時ノ取引所制度ト比ベテ、幾分興味ガ薄ライダカノ感ガアルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアルト考ヘルノデアリマス、併シナガラ根本ニ於テ國民大衆ガ株式ニ投資シテ、ソレニ依ツテ必要ナル産業資金ヲ調達スルコト云フ考ヘ方ハ、堅持致シテ居ル譯デアリマスカラ、勿論全然株式ニ妙味ガナイ、興味ガナイ、投資ヲ誘致シ得ナイト云フ狀態ニ、之ヲ制約シテシマフト云フ意圖ハ毛頭ナイ譯デゴザイマス、又一ツノ例トシテ御舉ゲニナリマシタ取引所ガ行司役デアルニ拘ラズ、自ラ賣買スル、此ノコトハ非常ニイケナイ、ダカラ是ノ一ツノ方法トシテ、從來通り賣買操作ハ、戰時金融金庫ヲシテヤラシメタラ宜イデハナイカ、或ハ又戰時金融金庫ノ從來ノヤリ方デ支障ガアル

ト云フナラバ、戰時金融金庫ヲ特殊ナ取引員トシテヤラシメタラ宜イデハナイカト云フ御意見デゴザイマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ、大體取引所ノ價格ト云フモノハ、自由ナル需給ノ投合ノ結果ニ依ツテ形成セラレタルモノガ公正ナルモノデアアル、併シソレニハ行過ギト云フヤウナコトガアルカラ、ソレニ對シテサウ云フコトノ出來ナイヤウニ、色々ナ方策ヲ講ジテ居ルノデアアル、過當ナル投機ノ弊害ヲ除去スルヤウナ方策ヲ講ジテ居ルノデアアル、斯ウ云フ建前デ新取引所ヲ立テテ居ルノデアリマスガ、サウ致シマス以上、取引所ノ任務ハヤハリ公正ナル價格ヲ作ラスヤウニ、色々ト市場ノ取引ヲ管理、指導シテ行クト云フコトガ、一ツノ任務デアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ取引所自ラ其ノ任務ヲ實行スル意味ニ於テ、有價證券ノ賣買ヲスルト云フコトハ、極ク自然ニ考ヘ得ルコトデアルト思フノデアリマス、唯取引所自體ガ賣買スルト云フコトハ、從來ノ取引所ノ觀念トハ可ナリ懸離レテ居リマスコトハ、御話ノ通りデアリマシテ、是ガ一般ノ取引員ニ與ヘル不安ト云フヤウナモノハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマシテ、其ノ爲ニ政府ニ於キマシテハ、日本證券取引所ガ賣買ヲ當然ヤツテ宜イノダト云フコトデハナク、特ニ政府ニ於テ必要アリト認メ、證券取引所ニ命令ヲシタ場合ニハ、サウ云フコトヲヤレ、斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマシテ、取引所ノ任務竝ニ取引所ヲシテ賣買セシメル弊害ト、兩者ヲ考ヘ併セマシテ、サウ云フ特殊ノ場合ニ於テ政府ノ命令ヲ受ケテ取引ヲスルト云フ組織ニ致シテ居ル譯デアリマス、併シ又戰時金融金庫ヲシテ、從來通りヤラシメルト

戰時金融金庫ヲシテ、從來通りヤラシメルト

云フコトモ殘ツテ居ルノデアリマシテ、昨日モ中村委員ニ御答ヘ申上デマシタヤウニ、此ノ運用ハ主トシテ戰時金融金庫デヤツテ行ク、特ニ戰時金融金庫デハ第三者的ナ立場ニアルガ故ニ、取引所ノ内部ノ事情ニ通ゼズ、相場ノ急變等ニ際シテ、機宜ノ措置ガ執レナイト云フ憾ミガアリマスノデ、サウ云フ場合ニ於テハ、日本證券取引所ヲシテ賣買ヲ行ハシメルト云フ建前ニ致シテ居ル譯デアリマス、先程仰セニナリマシタ取引員ニシタラドウカト云フコトデゴザイマスガ、戰時金融金庫ヲ取引員ニスルコトニ依ツテ、或ル程度從來ノ缺陷ハ防ギ得ルト思ヒマス、併シナガラ取引員ニ致シマシテモ、取引員トシテ常時賣買ニ從事致シテ居ル譯デアリマセス、特ニ相場ノ暴騰、暴落等ノ場合ニ於テ戰時金融金庫ハ隨時發動致スノデアリマスカラ、其ノ發動ノ時期其ノ他ニ付キマシテハ戰時金融金庫ノ判斷、其ノ他ニ於テ常時株式市場ヲ管理致シテ居ル取引所トハ、格段ノ相違ガアルト思フノデアリマス、取引員ト致シマシテモ、證券取引所ヲシテ賣買セシメルヤウナ、十分ナ機能ハ發揮シ得ナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラモウ一點現在ハ資金統制ガ完備シテ、金融ノ面カラモ株式資金ニ對スル統制ハ十分出來テ居ル、又會社經理統制令モアツテ株價ノ根源ヲナス配當等ニ對スル制御ガ出來ルデハナイカ、或ハ又課税ノ方法モアルデハナイカ、ソレニ依ツテ旨クヤツテ行クナラバ株價ニ大變動ハナイ、隨テ政府ガ株價ノ變動ヲ豫想シテ色々ナ干涉ヲスルト云フヤウナ考ヘ方ハ要ラナイノデハナイカト云フヤウナ御趣旨デアツタト存ジマスガ、御話ノ如ク段々金融行政モ

資金ニ關スル統制ハ整備シテ參リマシタ、又經理統制ニ依ツテ配當其ノ他ニ對スル政府ノ規制權モ出來テ居ル譯デアリマスガ、併シナガラ例ヘバ最近ノ斯ウ云フヤウナ統制ガ大分整備致シマシタ昨年以來ノ株價ノ動キヲ見マシテモ、尙且ツ色々不合理ナ點ガアルノデアリマシテ、政府ニ於テ之ヲ統制スベキ必要ヲ感ズルノデアリマス、金融統制會社經理統制令、何レモ從來ノヤウニ株價ハ自由ニ相成ラヌト云フヤウニハナツテ居リマスケレドモ、其ノ下ニ於キマシテモ、尙ホ株價ノ勢ヒハ御承知ノヤウニ昨年非常ニ騰貴ヲ致シマシテ、誰デモ株ヲ買ヘバ儲カルト云フヤウナ思想ガ瀾漫致スヤウニ相成ツタ時代モアルノデアリマス、ソレハ皆金融統制令ニ致シマシテモ、經理統制令ニ致シマシテモ或ハ株價統制令ニ致シマシテモ、取引所制度ノ根本ニ觸レズシテ、外廓カラ色々株價ヲ統制スル方式ニ過ギナイノデアリマス、サウ云フ現ハレタ結果ヲ抑ヘルヨリモ、寧ロ其ノ取引ノ方法自體、即チ取引所制度ノ根本ニ改革ヲ致スコトニ依ツテ、ソコニ行ハレル取引——自然ノ經路ニ依ツテ出來タ價格ト云フモノガ、公正ニナリ得ルヤウニ組織ヲ變更スコルトガ、此ノ際最モ必要デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○永野委員 只今理財局長ノ御答辯ノ中ニ、或ハ私ノ申上デマシタ趣意ニ誤解ガアツタノデハナイカト思フ節ガアリマスカラ、ソレヲ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ト申シマスルノハ私ハ決シテ當所株ノ上場ヲ禁止セラレタカラ、ソレデ株式ニ對スル興味ヲ失ツタト申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、當所株ノ上場禁止ハ、私自體モ贊成ナノデアリマス、唯其ノ禁止ノ道程ガ、一斑ヲ以テ全豹ヲ推スト云フヤウナ感じカラ、此ノ傾向ガ他ノ株式ニモ及ビハシナイカト云フ點ニ、國民一般ガ不安ヲ持ツタト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、當所株自體ニ付テモ々ガ彼レ此レト申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、或ハ是ハ私ノ方ノ誤解カモ知レマセヌケレドモ、念ノ爲ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

ソレカラ株價ヲ外部カラ操作スル機構ノ問題デアリマスケレドモ、私ト雖モ決シテ過去アリシガ如ク絕對的ニ自由ナル取引ヲ要望シテ居ルノデハ斷ジテナイノデアリマス、或ル程度ノ株價ノ操作ガ必要デアルト云フコトハ痛感シテ居ルノデアリマス、併シナガラ私ハヨク此ノ官廳ノ施設ニ現ハレマスルトコロノ極メテ一時的、部分的ノ現象ニ驚イテ全般的、永久的ノ制度ヲ御布キニナルコトガ時ニアルノデアリマス、例ヘバ昨年、或ル特殊ノ財閥株ガ多少程度ヲ超シタ値上リヲシタト云フコトハ事實デアリマス、併シナガラ半面ニ寧ロ數年前ヨリモ値下リヲシテ居リマス所ノ株式モ、多數アツタノデアリマシテ、日清、日露戰後ノ株式熱狂時代ノ如ク、何等見境ヒナク、熱狂シテ居ル時トハ其ノ性質ガ斷然違フノデアリマス、一時的、部分的ノ現象ニ對スル應急ノ處置ヲ執ル必要ガアルコトハ私モ認メマス、併シナガラソレデカラト云ツテ全般的、永久的ノ機構ノ問題ヲ、ソレノ爲ニオヤリニナルト、失フ所ガ或ハ得ル所ヨリモ多イノデハナイカト云フ懸念ガアルカラ此ノ愚見ヲ申上ゲタ次第デアリマス、是カラ先ハ意見ノ相違ニナリマスルカラ、此ノ問題ハ是デ私ハ打切りマス

次ニ第二、取引所ノ機構ト取引員ノ位置、身分ト云フコトニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、私ノ信ズル所ニ依リマスルト、有價證券ノ重要性ハ益々増大シマシテ、寧ロ貨幣ノ經濟機構ニ持ツ重要性ノ疊ラ摩スルニ至ルト思フノデアリマス、故ニ此ノ度ノ機構改革ニ當ツテ、此ノ重要性ニ相應スルヤウナ取引所機構ヲ作ツテ載キタイ、之ヲ具體的ニ申シマスルナラバ、取引所ノ經濟界ニ於ケル位置ハ、日本銀行ノソレニ匹敵スル存在ヲラシメナケレバナラナイ、ソコデ更ニ具體的ニ申シマスルト、其ノ役員ノ選任ハ政府ノ御裁斷ニ俟ツコトニナツテ居リマスカラ、此ノ選任ニ當リマシテハ、今申シマシタヤウナ經濟界ノ重要性ヲ十分御考慮ニナリマシテ、少クモ日本銀行ノ役員ニ匹敵シ得ル人選ヲ希望スルノデアリマス、次ニ取引員ニ付デアリマスルガ、此ノ取引員ヲ純然タル「コンミッション・マーチヤント」トシテ御認メナリヤ否ヤ、若シモ純手數料主義デ立行クモノトシテ取引員ヲ御認メニナルノナラバ、必ズシモ數百萬圓ノ資金ヲ必要トシナイノデハナイカ、寧ロソレト反對ニ相當ノ人格的ノ要素ヲ、資金ノ要素ト同格ニ御置キニナツテモ差支ヘナイノデハナイカ、從來率直ニ申シマシテ取引員ノ社會的ノ扱ヒハ、其ノ任務ノ重大性ニ比較シテ如何ニモ低カツタノデアリマスルガ、是ハ從來政府ガ物的ノ要素、即チ資産一點張リデアリマシテ、人格的ノ要素ヲ無視致シテ居リマス、爲ニ——無視ト云フノハ過言デアリマスケレドモ、缺格條件トシテハ認メテ居リマス、併シ積極的ノ條件トシテハ認メテ居ラナカツタ、ソコデ如何ニ人格者デアリ、如何ニ練

達堪能ノ士デアリマシテモ、或ル一定ノ資
産ガナイ者ハ、此ノ市場カラ締出シサレテ
居ツタノデアリマス、此ノ事實ガ非常ニ重
要ナル社會的公共性ヲ持チ、或ル意味カラ
申シマス、人ノ命ヲ預ツテ居リマスル
醫師、又ハ訴訟事務ヲ擔任シテ居リマスル
辯護士ナドヨリモ、モツト重イ社會的ノ任
務ヲ持ツテ居ルニモ拘ハラズ、頗ル社會的
ニ低イ地位ニ甘シナケレバナラナカツタ
實情デアリマス、私ハ此ノ改革ニ當リマシ
テ、政府ハ取引所ノ地位ノ向上ヲ御圖リニ
ナルト共ニ、取引員ノ社會的地位ノ向上シ
得ルヤウニ運用シテ戴キタイト思フノデア
リマス、此ノ點ニ關スル政府ノ御所見ヲ承
ハリタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今取引所役員及ビ取引
員ノコトニ付テ御話ガアリマシテ、ソレ等
ノ者ノ地位ヲ將來ニ於テハ向上スルヤウニ
運用シテ行クガ宜シカラウト、當局ノ意見
ヲ御質シニナツタノデアリマスガ、先程來
御話ニナツテ居リマスルヤウニ、政府ト致
シマシテハ、株式ノ產業界ニ於ケル地位ヲ、
依然最モ重視シテ居ルノデアリマシテ、今
回此ノ取引所ノ改造ト申シマスルカ、新シ
イ施設トシテ日本證券取引所ニ關スル法
律案ヲ提出致スニ付キマシテハ、株式ノ地
位ヲ十分ニ認メマシテ、ソレノ公正ナル價
格ノ形成、或ハ流通ノ圓滑ノ爲ニ、ソレノ
中樞ノ機關トシテ日本證券取引所ヲ設立ス
ルコトニ相成ツタノデアリマス、隨ヒマシ
テ仰セノ如ク、ソレノ役員トナラレル方、
日本證券取引所總裁、日本證券取引所副總
裁以下役員トシテ、其ノ運用ノ責ニ任ゼラ
レル方々ノ人選ニ付キマシテハ、最モ慎重
ヲ期スル考ヘデ居ルノデアリマス、法案ニ

依リマスレバ、ソレ等ノ役員ハ政府之ヲ命
ズト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス
ガ、御指摘ノ點ハ法文ノ體裁ヨリハ、ソレ
ノ實際ノ運用ニ付テドウ云フ方々ヲ選ブコ
トニスルカ、實際ノ運用ニ付テ最モ慎重ナ
ル考慮ヲ拂フベキデアアル、若シ其人選ヲ
誤マルヤウナコトガアリマセウカ、延イテ
ハ日本證券取引所ノ地位、信用ニモ係ハル
コトデアリマシテ、此ノ日本證券取引所ガ
將來ニ於テ金融界ニ於ケル日本銀行ノ如キ
重サヲ持ツニ至ルカドウカト云フ點ハ、洵
ニ人選ノ點ニ最モ關係ガアルト思フノデア
リマス、就キマシテハ此ノ總裁、副總裁以
下ノ役員ノ人選ニ付テハ、最モ慎重ヲ期シ
マシテ、其ノ貫祿、閱歷、人格等ニ付テハ
十分念ノ入ツタ調査ヲ遂ゲマシタ上デ、運
用ヲ致シテ行キタイト左様ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス

次ニ取引員ノ地位身分ノ件デアリマスガ、
取引員ハ株式資本ノ下ニ於キマシテ、今日
ニ於テモ極メテ重要ナル仕事ニ當ツテ居ラ
レルノデアリマシテ、其ノ世間的ノ見方、
待遇必ズシモ低イトモ思ハナイノデアリマ
スガ、吾々ハ其ノ地位ニ對シテ今日ニ於テ
モ、十分敬意ヲ拂ツテ居ルノデアリマスガ、
將來此ノ日本證券取引所ガ生マレ出マシテ、
國家ノ要請スル主トシテ株式ニ關スル取引
機關トシテノ證券取引所ノ取引員ニナラレ
ルニ付キマシテハ、其ノ地位一段ト向上ス
ルコトハ疑ヒヲ容レナイ所デアルト思フノ
デアリマス、之ニ付キマシテハ法案ノ中ニ
モ、是ガ株式會社デアアルコトヲ必要トシ、
又ソレニ關スル資本的ノ條件モ規定致シテ
居リ、又缺格條項トシテ人的要素ノコトモ
書イテアルノデアリマスガ、之ニ付キマシ

テモ御指摘ノ通り人格の要素ヲ考ヘルト云
フコトハ、極メテ重要ナルコトデアルト思
フノデアリマス、今日色々物的、金錢的ナ
評價ガ行ハレルノデアリマスガ、ヤハリ基
本ニ於キマシテハ、人格ノ信賴スベキモノ
アリヤ否ヤト云フ點ガ、運用上ノ最モ重要
ナル點デアルト思フノデアリマス、當局ト
致シマシテハ取引員ノ產業經濟界ニ於ケル
重キ社會的ノ任務ニ鑑ミマシテ、今後ノ運
用上ニ於キマシテハ、其ノ社會的地位ノ一
層向上スルヤウニ、出來ルダケノ配慮ヲ致
シタイト思フノデアリマス

○永野委員 第三ニ、此ノ新機構ノ運用ニ
付テ承リタイノデアリマスガ、清算取引所
ヲ何處ト何處ニ置クカ、或ハ賣買仕法ヲ如
何ニ取極メルカ、更ニ舊機構カラ新機構ニ
移ル間ニ經過的ニ執ラナケレバナラナイ各
般ノ處置、是等ノコトニ付テハ如何ナル方
法ニ依リ御決メニナリマスガ、其ノ方針ト
具體的ノ成案ガ伺ヒ得ルナラバ、御聽カセ
願ヒタイ

○田中(豐)政府委員 實施上ノ問題トシテ
新市場ヲ何處ニ置クカ、又新組織ノ下ニ於
テ如何ナル賣買仕法ヲ執ルカ、更ニ現在ノ制
度カラ新シイ制度ニ移リ變リノ經過的ノ措
置ヲドウスルカ、斯ウ云フ御質問デアリマ
スガ、市場ノ開設ニ關シマシテハ先日來度
度申上ゲマシタ如ク、抽象的ニ言ヘバ、現
在竝ニ將來ニ互ニ産業的ノ各種條件ヲ考ヘ
テ、必要ノ地ニ必要ナ市場ヲ置クト云フコ
トナンデゴザイマスガ、具體的ニ申上ゲマ
スレバ、清算取引所ニ付テハ其ノ弊害ニモ
鑑ミテ、出來ルダケ其ノ設置場所ヲ少クス
ルト云フコトヲ申上ゲテ居リマス、又實物
市場ニ付キマシテハ、將來株式ノ實物取引

ノ繁榮ヲ期スルト云フ必要モアリマスノデ、
必要ノ地ニ必ズ實物取引所ヲ置クト云フコ
トヲ考ヘテ居リマスガ、差當リノコトトシ
テハ、現在取引所ノアリマス十一ノ場所ニ、
實物取引所ハ存置スル、斯様ニ考ヘテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、賣買仕法ノ問題ニ付
キマシテハ、昨日モ申シマシタヤウニ、各
種ノ問題ガアリマシテ、是等ヲ決定致シマ
ス爲ニ、取引委員會ニ附議致シマシテ、各
種ノ專門家ノ意見等ヲ徵シテ決定致シタイ
ト考ヘテ居ル次第デアリマスガ、問題トシ
テ考ヘテ居リマスモノハ、短期取引ヲ廢止
スルカドウカ、長期ノ限月ヲ短縮スベキカ
否ヤ、或ハ實物ノ取引ノ期限ノ十五日ガ現
在ノ儘デ適當デアアルヤ否ヤ、或ハ是等ノ各取
引ニ當リマシテ、現在ノ仕法ニ付テ改善ス
ベキ點ハドウデアアルカ、各種ノ問題ガアル
ト思ヒマスガ、サウ云ツタ點ガ問題ニナリ
得ルト思フノデアリマス、尙ホ第三ノ點ト
シマシテ、現在ノ取引ヲドウ云フ風ニ新取引
所ニ移シテ行クカ、或ハ又現在ノ取引所ハ
ドウ云フ風ニナツテ新取引所トナルカト云
ツタヤウナ問題デアルト思フノデアリマ
スガ、賣買取引所ニ付キマシテハ、其ノ間
ニ移リ變リノ際ニ於テ取引所ヲ暫クノ間休
止スル、一日、二日ノコトハ場合ニ依ツテ
ハ仕方ナイカトモ存ジマスガ、休止スルト
云フヤウナコトナクシテ、自然ニ新シイ制
度ニ推移シ得ルヤウナ方法ヲ考究致シテ、實
施致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、
其ノ點ニ付キマシテハ色々法律上、或ハ取
引上ノムツカシイ問題ガアルト思ヒマス、
大體ニ於キマシテ暫クノ間ハ取引所代行ハ
レタ取引ヲ、新取引所ノ取引ト看做スト云
フヤウナ規定モ必要デアアルカモ知レマセヌ、

サウ云ツタヤウナ方法ニ依ツテ、最モ圓滑ニ新制度ノ取引ニ移行致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、又現在ノ取引所ノ資産デアルトカ、其ノ他ノ株主ノ關係、サウ云ツタヤウナモノハ總テ新取引所ニ引繼ギマシテ、普通ノ會社ノ合併トカ吸収ト云フコトデハナク、法律ノ規定ニ依ツテ新シイ取引所トナルト云フコトニ依ツテ、資産ノ實際ヲ引繼ギシテ、又株主關係モ新取引所ノ出資者ニナルト云フヤウナ方法ヲ設立致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○永野委員 私ノ此ノ際特ニ當局ニ對シテ希望シテ置キマス點ハ、此ノ取引所ノ設置場所、賣買仕法ヲ如何ニ決メラルカト云フ問題、或ハ過渡的ノ處置等ニ付キマシテハ、最モ公平ニ最モ實情ニ即スルヤウニ、之ヲ決定スル爲ニ、成ルタケ廣ク此ノ業者或ハ學識經驗アル者ノ知識經驗ヲ擧取セラレマス方法ヲ、何カ具體的ニ御考ヘニナツテ居リマスルカ、或ハ現ニ此ノ新法案ノ中ニ、其ノ意味ガ織リ込マレテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 昨日來御説明申上ゲマシタヤウニ、各方面ノ意見ヲ聽キ、今後十分ニ公正ナル見地カラ決定致シタイト云フコトヲ、色々ノ點デ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ色々御研究願フ爲ニ、本法ノ施行ニ關スル重要ナル事項ヲ附議スル爲メ、取引委員會ヲ置クコトニナツテ居リマス、此ノ委員會ハ關係各省ノ官吏、產業界ノ代表者、金融界ノ代表者、或ハ其ノ方面ノ學識經驗ノ深イ方ヲ御願ヒ致シマシテ、十分檢討致シタイト思ツテ居リマス、取引委員會ニ於キマシテハ、取引仕法ノ問題ガ主タル問題ニ相成ルモノト思ヒ

マス、尙ホ經過的ナ問題トシマシテ、此ノ移リ變リニ於ケル現在ノ取引所ノ資産等ヲ、新取引所ニ吸収統合致シマス爲ニ、其ノ評價ノ公正等ヲ期スル爲ニ、取引所資産評價委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、其ノ方面ノ專門家ニ御願ヒシテ、政府ノ認可致シマス評價ノ公正ヲ期シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、其ノ二ツノ組織ガ法案ニ記載シテアル次第デアリマス

○永野委員 取引委員會ノ設立ハ、何時頃ノ豫定デアリマスカ

○田中(豐)政府委員 本法ガ施行ニナリマスレバ、直チニ委員會ヲ構成致シタイト考ヘテ居リマス

○永野委員 私ハ出來得ベクンバ、即刻ニデモ此ノ委員會ノ形成ヲナサツテ、成ルタケ事前ニ十分ナル御審議ヲ御盡シナルヤウニ、是ハ希望トシテ申上ゲテ置キマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○田中(豐)政府委員 御希望ノ點デ御答ヘ申上ゲナクトモ宜イノカモ知レマセヌガ、事前ニ審議致ス爲ニ、即刻ニモ委員會ヲ開ケト云フ御話デゴザイマス、例ヘバ取引仕法ナドニ付キマシテモ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、新制度ハ色々準備ノ關係モアリマシテ、ハツキリハ致シマセヌガ、七月カラ發足致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレマデニ各種ノ問題——ソレヨリ早く決メナケレバナラヌ問題モアリマセウガ、多クノ問題ハソレマデニ決定スルコトニ相成ルト思ヒマス、隨テ新法施行後直ニ委員會ヲ開イテ審議ヲ願フト云フコトニナツテモ、總テ事前ニ十分審議スルコトニナルト考ヘテ居リマス

○山本委員長 渡邊君

○渡邊(善)委員 取引所制度改善ノ問題ハ多年ノ懸案デアリマシテ、既ニ今マデ十分論議サレタ事項デアリマス、今マデノハ自由經濟時代ニ出來マシタ立法ニ付テ檢討サレタデアリマスガ、只今大東亞戰爭ガ勃發シマシテ、此ノ戰時狀態ニ即應スル爲ニハ、當然取引所ノ機構ヲ變ヘナケレバナラヌト云フコトハ、已ムヲ得ナイコトト私ハ考ヘテ居リマス、今度政府ノ御提案ニナリマシタ日本證券取引所法案ノ内容ニ付キマシテハ、先輩ノ委員諸氏カラ、適切ナ御質問ガアリマシテ、之ニ對シテ政府ノ懇切ナル御答辯ガアリマシタノデ、大體ニ於テ私ハ是ハ能ク諒解スルコトガ出來タノデアリマス、唯私ハ自分ガ業界ノ實情ヲ知ル者ノ一人デアリマス關係上、是ガ實施サレマス場合ノ細イ點ニ付キマシテ、二三御聽キ致シタイト思フノデアリマス

第一ハ度々問題ニナツテ居リマス賣買取引ノ問題デアリマス、現在ノ市場デ行ハレテ居リマス取引ハ、實物或ハ清算取引ニナツテ居ル、其ノ中清算取引ニ於キマシテハ、長期取引ト短期取引ト二ツニ分レテ、短期ガ三十日間取引デ、長期ガ三箇月間ノ取引ニナツテ居ルノデアリマス、先般來政府ノ御意向ヲ伺ヒマス、長期取引ハ古イ制度ノ下ニ設ケラレタモノデアツテ、三箇月ハ長キニ失スル、理論的ニハ是ハ二箇月デモ宜イト思フノガ、尙ホ多年慣行サレタ習慣モアルカラ之ニ對シテハ十分檢討シテ、適當ナル期間ニ定メラルト云フ御話デアリマス、洵ニ御尤モナ御意見ト思フノデアリマス、私共業界ノ實情ヲ知ル者ノ立場カラ之ヲ檢討致シマス、一時二箇月制ガ行ハレタコトモアリマス、併シ行ヒマシタ結果、非常ニ

運用上ニ不便ノ點ヲ發見シマシテ、又三箇月ニ直サレマシタ、現在ニ於テハ三箇月ガ行ハレテ居ル次第デアリマス、而シテ私共ハ三箇月ガ非常ニ適當ナ方法デアルト云フコトヲ考ヘマスノハ、現在非常ニ大量ノ取引ノアリマシタヤウナ場合ニ、或ハ二箇月制デアリマス、ソレヲコナス時ニ或ハ當月、或ハ翌月ト云フ風ニ分ケマシタ場合ニハ、非常ニ株價ニ變動ヲ與ヘルコトガアリマス、又或ハ消化ガ困難ナ場合ガアル、サウ云フ場合ニ是ガ或ハ翌月、翌々月ト云フ風ニ三期ニ分ケマシテ之ヲ處理シマス場合ニハ、大シタ變動モナク、極ク圓滑ニ消化ガ出來マス、又株價ノ公正ナ價格ヲ形成スルコトモ出來ルノデアリマス、ソレト又更ニ一歩ヲ進メマシテ、三箇月ハ投機氣分ガ濃厚デアラルカト云フヤウナ御意見ガアルトシマシタナラバ、昨日理財局長ガ御話ニナリマシタヤウニ、現在行ハレテ居リマス短期ノ長所ヲ採入レテ、サウシテ長期ノ取引ノ中ニ、期限內ト雖モ期限前ニ於キマシテ株ヲ欲スル者ハ、金ヲ出セバ其ノ株ガ取レル、又株ヲ資金ニ換ヘタイ者ハ、期限內ト雖モソレヲ提供スレバ、取引所ニ於テ資金ヲ渡スト云フヤウナ方法モアリマス、サウシテ實物ノ資金ヲ非常ニ多クスルコトモ出來ルシ、投機ヲ緩和スルコトモ出來ルノデアリマス、又更ニ現在大東亞戰爭ノ大結果ニ鑑ミマシテ、大東亞共榮圈ガ愈々確立シマシタ場合ニ、南方方面ハ殊ニ莫大ナ資産ヲ持ツテ居リマス所ノ華僑方面ガ、日本ノ有價證券ニ依ツテ投資スル場合、又或ハ南方各地方ニ於キマスル有價證券ガ上場サレルヤウナ場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ三箇月ガ必要ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、

此ノ點ニ付キマシテハ、只今伺ヒマス、
證券取引委員會ニ於キマシテ、御審議ガアル
ルヤウニ伺ツテ居リマスガ、十分ノ御檢討
ヲ御願ヒシタイト存ズルノデゴザイマス

ソレカラ尙ホモウ一ツ申上ゲタイコトハ、
取引員ノ賣買證據金ノ問題デアリマス、是
ハ御承知ノヤウニ、取引員ガ取引所ニ向ッ
テ賣買ヲシマシタ場合ニハ、即刻證據金ヲ
提供スルノデアリマスケレドモ、今マデノ習
慣ノ上カラ申シマシテ、委託者カラ委託ヲ受
ケマシタ場合ニ、直チニ證據金ヲ徵收スルコト
ハ中々困難デアリマス、殊ニ委託者ガ或ハ銀
行デアルトカ、信託デアルトカ、保險會社
デアルトカ、有力ナル方面デアル場合ニ於
キマシテハ、證據金ヲ徵收スルコト云フコトハ
先ヅ難カシイノデアリマス、サウ云フ場合
ガアリマスノデ、此ノ證據金ニ付キマシテ
ハ、法律ヲ以チマシテ、必ズ委託者カラ證
據金ヲ徵收シロト云フ御命令ニナリマシテ
モ、實行ハ非常ニ困難デアルノデハナカラ
ウカト考ヘルノデアリマス、ソレト尙ホ現
在行ハレテ居リマスヤウニ、取引所ニ納入
シマス證據金ト委託證據金トハ、相當ノ差
ヲ置イテ載キタイト思フ、是ハ今ノ取引員
ガ取引所ニ向ッテ賣買ヲシマス場合ニ、證
據金ノ立替モアリ、或ハ又仕切金其ノ他ニ
對シテ立替金ヲ要スル場合ガアルノデアリ
マス、サウ云フ場合ヲ考慮シ、又取引員
ハ取引所ニ對シテ絕對ノ責任ヲ持ツテ居リ
マス、又取引委託者ハ取引員ニ對シテハ絶
對ノ權利ヲ持ツテ居リマスケレドモ、取引
所ニ對シテハ何等ノ義務ヲ負ツテ居ラナ
イ、サウ云フ關係カラ取引員ハ取引所ニ於
テハ義務ヲ持チナガラ、委託者ニ對シテ持
ツテ居ル所ノ權利ハ非常ニ少イノデアリマ

ス、ソレヲ確保スル爲ニハ、是非トモ委託
證據金ヲ相當ノ程度マデ引上ゲテ載キタイ
ト思フノデアリマス

ソレカラモウ一點御願ヒシマスケトハ、取引
員ノ資格ノ問題デアリマス、是ハ先刻來御話ノ
ヤウニ、取引所ノ地位ヲ向上シ、取引員ノ品位
身分ヲ向上シマス爲ニ成ベク取引員ノ資格ヲ
高メマスケトハ、非常ニ結構ナコトデアリマス
ケレドモ、此ノ取引員ノ資格ト云フモノハ非常
ニ波瀾ガ多イノデアリマス、而モ又非常ニ
ソレニ伴フ危險ガ多ク、又特別ノ技術ヲ持
タナケレバナラスノデアリマス、長年ノ經
驗ヲ持チ、サウシテ色々苦心經營ノ結果、
此ノ業務ヲヤリ得ルノデアリマス、取引員
ノ認許ニ當リマシテハ、先刻次官閣下ノ御
話ガアリマシタヤウニ、物的ニ資本ヲ要ス
ルバカリデナク、本當ニ其ノ人的要素ニ重
キヲ置カレマシテ、立派ナ人格デアリ、立派
ナ手腕ノアル人物ガアリマシタナラバ、成ベ
ク之ヲ登用スルヤウニシテ載キタイト思フ、
希クバ只今營業シテ居リマス所ノ從業者ハ、
新設取引所ノ取引員ニ落伍者ナク成ベク多
數ノ者ヲ其ノ方ヘ統合シテ載キタイト考ヘ
ル次第デアリマス、其ノ外尙ホ自己賣買ノ
問題、或ハ小口落ノ問題等ガアリマスガ、
之ニ付キマシテ政府ニ於カレマシテハ、成
ルベク多年ノ習慣ヲ尊重セラレマシテ、サ
ウシテ急激ナル變化ニ依ツテ當業者ニ對シ
テ非常ノ損害、或ハ經濟界ニ波瀾ヲ起スコ
トノナイヤウニ、御注意ヲ願ヒタイト思ヒ
マス、是等當業者ニ對シマシテ出來限リ
指導育成ト云フヤウナ親切ヲ持ツテ、暖カ
ナ氣分デ以テ御取扱ヒヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、今當業者ハ此ノ事變以來非常
ニ時局ヲ認識シマシテ、サウシテ自肅自戒、

職域奉公ニ色々邁進致シテ居リマス際デア
リマスカラ、ドウゾ一ツ當業者ノ氣分モ十
分ニ御了察願ヒマシテ、出來得ル限り當業
者ニ對シマシテ、御理解ヲ持ツテ載キタイ
ト御願ヒスル次第デアリマス、以上ノ點ニ
付キマシテ、政府ノ御所見ヲ伺フコトガ出
來マスケレバ非常ニ仕合セト存ジマス

○田中(豐)政府委員 色々實狀ニ付キマシ
テ御意見ヲ拜聽致シマシタ、是等ノ點ニ對
シマシテ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタイト存ジ
マス、第一ハ取引仕法、殊ニ限月ノ問題デ
ゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ、昨日來
度々申上ゲテ居ルノデアリマス、唯理論的
ニハ短縮スベキモノト、吾々ハ考ヘテ居ル
ケレドモ、多年ノ慣行ヲ急ニ變ヘルト云フ
ヤウナコトカラ、影響スル所モ大キイコトデ
アルカラ、尙ホ十分考慮スル、斯様ニ考ヘ
テ居ル次第デゴザイマスガ、只今管デ二箇
月制ニシテ巧行カナカツタノデ、又三箇
月ニ變ヘタ歴史モアルト云フヤウナコトモ
承ツタノデアリマス、唯、此ノ限月ノ問題
ニ付キマシテハ、大量ノ取引ヲ消化スル、
或ハ相場ヲ平準化スルト云フヤウナ意味デ、
三箇月ガ宜イ、又大東亞ノ共榮圈ト云フヤ
ウナコトヲ廣ク考ヘテ見ルト、期限モ三箇
月ノ方ガ宜イト云フヤウナ御意見ヲ承ツタ
ノデアリマスガ、大量ノ取引ヲ消化シテ行
クト云フヤウナ考ヘ方カラ致シマス、期
限ガ三箇月カ二箇月カト云フ問題ヨリ別ニ
取引ノ區切りヲ三ツ、四ツニ分ケテ居ルコ
トハ、取引ヲ澤山ニシテ、需要供給ヲ分散
セシメテ居ルコトデアリマシテ、是ハ却ツ
テ大量ノ需給ヲ一ツ所ニ集メテ、公正ナル
價格ヲ作り、又價格ノ變動ヲ少クスルト云
フ考ヘ方カラ致シマスルト、當限、先限、

中限トシテ居ル分ケ方ハ、其ノ理論ニハ合
ハナイト考ヘルノデアリマス、出來限リ
一ツノ取引ニ集メテ、大キナ流れトシテ價
格ヲ公正ニ形成シ、價格ノ變動ヲ防グト云
フ考ヘ方ノ方ガ宜イノデハナイイカト云フコ
トヲ、吾々トシテハ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、併シナガラ是ハ根本ニ於キマシテハ、
色々理窟ハアルコト思ヒマスケレドモ、
十分今後考究致シタイト考ヘテ居ル次第
デアリマス、又將來我が國ガ大東亞共榮圈ノ
中心トシテ——中心デハアリマスルガ、將
來此ノ共榮圈內ニ於ケル色々ノ企業ノ株式
ガ、東京ナリ此ノ中央ノ市場ニ集マツテ取
引セラレル、ソレノ受渡シ等ヲ考ヘレバ、
限月ハ三箇月ト云フヤウナ長イ方ガ宜イノ
デハナイイカト云フヤウナ考ヘ方モ、勿論ア
リ得ルト思フノデアリマス、サウ云ツタ場
合ニ於キマシテモ、三箇月ガ宜イカ、或ハ
二箇月ガ宜イカ、或ハモツト短カクテモ宜
イカト云フヤウナコトガ考ヘラレルノデア
リマシテ、御話ノ如クサウ云フ必要ガアレ
バ、何時デモ又限月、期限ト云フモノハ長
クシ得ルト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デア
リマス

第二點ハ證據金ノ問題デアリマシテ、御
話ノ如ク現狀ニ於キマシテハ、取引員ガ委
託者カラ證據金ヲ取ルト云フコトガ、中々
履行致シ難ク、其ノ爲ニ取引員ノ經營上セ
知致シテ居ルノデアリマス、此ノ改正ヲ
機會ニ、總テノ機構ガ變ツテ行クノ同時
ニ、成ベク取引員モ客カラ證據金ヲ取り得
ルヤウナ氛圍氣ヲ作ツテ、即チ總テノコト
ガ嚴格ニヤカマシクナツタノデカラ、得意
ニ對シテモ證據金ヲ十分要求出來ルヤウナ

界圍氣が出来テ來ルト存ズルノデアリマス、又取引員ノ地位ノ向上ニ伴ツテ、サウ云ツタ點モ改善セラレルト考ヘテ居ル次第デアリマス、又一般委託者カラ取引員ガ徵收致シマス委託證據金ト、取引員ガ取引所ニ納付致シマス賣買證據金、是ハ現在ニ於キマシテハ御話ノヤウニ取引員ハ客カラ納メルモノノ半額ヲ取引所ニ納メル、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ制度ハ客ノ委託金ヲ或程度取引員ガ流用シテ、自己賣買ノ投機資金ニスルト云フヤウナ弊害モアル譯デアリマス、併シナガラ是ハ一方オ客ガ委託證據金ヲ取引員ニ渡サナイ爲ニ渡シタモノノ中カラサウ云フ流用モ利クト云フコトデ、兩者カラ見得ルノデアリマシガ、先程申シタ如ク委託者カラ取引員ハ證據金ハ必ズ取ル、其ノ代リ取引員ハ其ノ證據金ヲ自己ノ投機資金ニ流用シタリスルトトノナイヤウニ、賣買證據金ト委託證據金ハ漸次接近セシメテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ取引員ノ資格ノ問題、之ニ付キマシテハ個人組織、法人組織、何レデモ從來ハ認メラレテ居リマシタノヲ、今回ハ一定資本金以上ノ株式會社ト云フコトニ限ツタノデアリマスガ、勿論人格的要素モ重視致シマシテ、從來ノ經歷其ノ他ヲ十分勘案致シマシテ、將來ノ取引員ト云フモノノ地位ヲ向上シ、指導シテ行クト云フ方面モ、十分考ヘテ見タイト思ヒマス

又小口落ノ問題、自己賣買ノ問題等ニ付テモ御話ガアリマシタガ、小口落ニ付キマシテハ是ガ多年ノ慣行デアリマシテ、殊ニ取引所ノ計算上、整理上カラ斯ウ云フ方法ガ必要デアルト云フコトニ承ツテ居リマシ

テ、承知致シテ居ルノデアリマスガ、一方小口落ニハ非常ナ弊害モアリマシテ、委託者カラ證據金ハ取ルケレドモ、小口落シタ分ニ付テハ、取引所ニ賣買證據金ヲ出サナクテモ宜イ、隨テ其ノ證據金ヲ取引員ガ流用シテ自己賣買ノ資金ニスル、過當投機ニ流レルト云フヤウナ弊害モ間々アツタヤウデアリマス、隨テ此ノ小口落ノ問題ニ付キマシテハ、取引ノ整理上必要ナラバ、小口落ト云フモノハ勿論存續致シマスガ、其ノ弊害ト認メマス證據金ノ流用ト云フ面ニ於テ之ヲ制限シ、漸次禁止スル方向ニ進ミタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又取引員ノ自己賣買ニ付キマシテモ、是ハ色々ナ考ヘ方ガアリ得ルノデアリマスガ、取引員ガ株式價格ノ専門家トシテ、其ノ専門家ノ意見ヲ價格ニ導入スル、又取引員ヲ惡質ナル委託者カラ保護スルト云フ意味ニ於キマシテモ、自己賣買ト云フモノヲ絕對ニ禁止スルト云フコトハ困難デアラウト考ヘテ居リマス、唯自己賣買ニハ幾多ノ弊害ガアリマス、此ノ自己賣買ハ將來制限スル方向ニ向ツテ、其ノ弊害ヲ除去スルコトニ努メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○渡邊(善)委員 此ノ機會ニ御伺ヒ致シマスケレドモ、昨年ノ下期ニ於キマシテ、株ガ連續暴騰シマシタ際ニ、大藏大臣ハ株價ノ抑制ノ策トシテ、増資新株ノ割當ニ對シテ、制限ヲ設ケラレルト云フヤウナ御聲明ガアリマシタ、市場ハ之ニ對シテ非常ニ不安ヲ感ジテ居ル次第ナノデアリマス、何カ之ニ對シテ御方針デモアリマスナラバ御知ラセテ願ヒタイ

○田中(豐)政府委員 昨年秋十一月ノ半バ頃デゴザイマシタカ、今後増資ノ行ハレルモ

ノニ對シテハ、必ズシモ舊來ノ株主ニ割當セシメナイ、又増資ニ際シテ場合ニ依ツテハ減配ヲ考慮スルト云フヤウナコトヲ、當局ハ發表致シタノデアリマスガ、此ノ趣旨ハ申上ゲルマデモナク現在ノ時局ニ於テ増資スル、増資ガ許サレルト云フコトハ、全ク此ノ戰爭完遂ノ爲ノ國家ノ要請ニ基イタ企業ノミガ、増資ヲ認メラレテ居ルノデアリマシテ、會社ノ經營ガ良イカラトカ、或ハ資本、株主、其ノ他色々ナ努力ニ依ツテ増資ガ認メラレルト云フヨリモ、寧ロ事業其ノモノノ性質上、國家ガドウシテモ此ノ事業ハ擴張シナケレバナラスト云フ要請ニ基クト云フモノガ大部分デアリマス、隨テ此ノ増資ニ依ツテ株價ガ上ル、ソコニ「ブレミアム」ト云フモノガ發生スルノデアリマシガ、其ノ増資ニ依ル利益ト云フモノヲ、總テ舊來ノ株主ガ壟斷スルト云フコトハ、此ノ増資ガ行ハレル趣旨カラ考ヘマシテモ、社會的ニ考ヘマシテモ、必ズシモ妥當デハナイ、寧ロ是ハ「ブレミアム」ヲ付ケテ公募シテ、其ノ集マツタ金デ、其ノ會社ガ益、生産擴充ヲ達成シ得ルヤウナ資金ニ充テルコトガ妥當デアル、斯様ナ趣旨カラ發表シタヤウナ方針決定致シタ譯デアリマス、併シハ増資新株ハ全部舊株主ニ割當テナイ、或ハ一ツノ旨味モナイヤウニ減配ヲシロト云フノデハナイノデアリマシテ、ソレニ依ツテ生ズル利益ハ、株主以外ノ者ニモ——全部ハ壟斷セシメナイト云フヤウナ方針ナノデアリマス、ソレヲ實行スル基準如何ト云フ御尋ネデゴザイマスガ、此ノ問題ハ例ヘバ時ノ株價ニモ依リマスシ、拂込ニ對シテ株價ガドレ位離レテ居ルカト云フヤウナ株價ノ狀態ニモ依リマスシ、増資ノ金額ニモ依

リマス、又配當ノ狀態ニモ依リマス、又其ノ増資ガ前ノ増資ト、ドレ位時日ガ經ツテ居ルカト云フヤウナ問題ニモ依リマシテ、劃一的ニドウ云フ場合ニハドウスルト云フ標準ヲ申上ゲルコトハ、困難デアルト思フノデアリマス、併シナガラ大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、例ヘバ兩三年ヲ通ジテ倍額以上ノ増資ヲシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ倍額以上ノ増資分ニ付テ、舊株主ニ割當テナイコトヲ考慮スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯劃一的ニハ決メラレヌ問題デアリマスノデ、大體ノ標準ヲ其ノ邊ニ置イテ、其ノ會社ノ株價ノ事情ナリ、或ハ各種ノ資金、或ハ上場株カ否カト云フヤウナコトニ依リマシテ、具體的ニハ決定致シタイト思ツテ居リマス、大體ノ考ヘ方ハ只今申上ゲタヤウナコトニナリマス

○渡邊(善)委員 モウ一ツ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、大藏省ニ於キマシテハ株式會社ノ配當ニ對シテ、段々減配ヲ德澤スルト云フヤウナ御意向ハ別ニゴザイマセスカ、世間ノ一部ニ於キマシテハ、近頃非常ニ減配會社ガ殖エテ參リマシタノデ、或ハ大藏省ノ御方針トシテ、漸次配當ヲ減ジサセルノデハナイカト云フ風ニ觀テ居ルノデアリマスガ、サウ云フ御方針ガアリマシナラバ伺ヒタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 御話ノ如ク、平和産業其ノ他ノ方面ノ企業ニ於キマシテハ、減配ヲスル會社ガ相當アルヤウデゴザイマス、經理統制ノ運用トシテ、配當ヲドウスルカト云フ根本方針ニ付キマシテハ、抽象的ニ申上ゲレバ、要スルニ會社ノ經營ヲ堅實ニスルト云フ觀點カラ、或ハ償却ガ不足デアルノニ、相當高率ノ配當ヲ續ケルトカ、或

ハ其ノ他ノ經營ガ適正デナイノニ、配當ハ相當多ク出シテ居ルト云フヤナ場合ニハ減配ヲ懲罰シテ、或ル程度ノ減配ヲシテ戴イテ居ル例ハ間々アル譯デアリマス、又特別ノ監督ニ屬シマス保險會社トカ、或ハ取引所等ニ付キマシテ減配ヲ懲罰シ、又ハ増配ヲ抑止シタ例モアリマス、併シナガラ一般會社ニ對シマシテ、特ニ現在ノ配當ノ水準ヲ引下グルト云フ方針ヲ以テ臨ンデ居ルト云フコトハナイノデアリマシテ、ソレゾレノ會社ノ事由ニ依ツテ、減配ヲ適當トスルモノニ付キマシテハ減配ヲ強ヒ、或ハ懲罰スルト云フコトハ致シテ居リマスガ、全體的ニ減配ノ方針デアルト云フコトハ、マダ考ヘテ居ナイ次第デアリマス

○渡邊(善)委員 會社ノ内容ヲ充實スル爲ニ減配ヲシテ、サウシテ社内留保ヲ多クスルト云フコトハ、非常ニ結構ナコトデゴザイマスケレドモ、株價形成ノ一要件トシテ、ヤハリ配當率ガ大體其ノ採算ノ基準ニナツテ居リマス關係上、近頃ノ會社ノ成績ヲ見マス、相當ニ會社ノ營業成績ガ擧ツテ居ルニモ拘ラズ、減配ヲシテ社内留保ニ努メテ居ル會社ガ、段々多クナツテ來テ居リマス、サウ云フ關係上、一般ノ株主ハ今マデ公債ニ準ズルモノトシテ非常ニ確實ナ、此ノ會社ノ株券ハ七分ナラ七分、八分ナラ八分ノ配當ガ當分續クモノトシテ、ソレニ投資ヲシマシタモノガ、或ハソレガ一部減配サレルト云フコトニナリマス、非常ニソコニ資金計畫ノ上ニモ影響ヲ與ヘマス、又株價ノ上ニモ非常ニソレガ影響サレルヤウナコトニナリマス、政府御當局ニ於テモ、只今ノ御聲明ニ依リマシテ、配當ニ付テ何等ノ御懲罰ガナイト云フコトハ伺ツテ居リ

マスケレドモ、株價ノ變動ノ方ニモ相當ニ配當ノ率ノ動キト云フモノハ響クコトニナリマス、其ノ點ニ付テハ十分御考慮ヲ煩ハシテ貰ヒタイト考ヘルノデアリマス

○山本委員 是ニテ休憩致シマス、午後一時半カラ續行致シマス

午後十一時五十一分休憩

午後一時四十五分開議

○山本委員 是ヨリ開會致シマス、市街地信用組合法案ニ付テ審議致シマス——山田順策君

○山田(順)委員 長イ間農林大臣ノ所管デアリマス市街地信用組合ガ、此ノ度市街地信用組合法ニ依リマシテ大藏大臣ノ專管ニナリ、庶民金融機關トシテノ本然ノ使命ヲ達成スルト云フコトニ相成リマスコトハ、洵ニ市街地信用組合關係ノ一人ト致シマシテ、衷心大藏當局ニ敬意ヲ表スル次第デゴザイマス、ソコデ私ハ此ノ際市街地信用組合法ヲ通覽致シマス、マダ隔靴搔痒ノ感ガアルヤウナ點ガアルノデゴザイマス、各條ニ付テ質疑ヲ致シテ行キタイト存ズルノデゴザイマス

先ヅ第一ニ二十四條デゴザイマスガ、二十四條ノ二項ニ「法人ハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外市街地信用組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、最近御承知ノ通り市街地信用組合ノ構成員デアアル其ノ組合員ノ、各種ノ産業部面ニ關係シテ居ル方面ニ於キマシテ、中小商工業者ノ再編成並ニ各物資ノ不足ノ爲ニ統制セラレマシテ、段々ト其ノ企業者ガ、或ハ家庭工業者タル組合員ガ、一ツノ有限會社ヲ作り、乃至ハ統制會社ヲ作ルト云フ

コトニ相成ツテ來テ居ルノデアリマス、ソコデ組合員タル法人ト云フモノハ、勅令ヲ以テ定メルコトニナルノデゴザイマスガ、其ノ組合員タル法人ノ種類ハ、ドノ程度ノモノヲ豫定サレテ居リマス、此ノ際御聽キ申シタイト思フノデアリマス

○谷口政府委員 從來所謂市街地信用組合ハ、産業組合ノ法制ノ下ニ入ツテ居ツタノデアリマスガ、今回市街地信用組合法案ヲ提出致シマシテ、吾々トシテ從來ヨリハ更ニ其ノ關係ヲ深クスルヤウナコトニ相成ツタノデアリマシテ、當局ト致シマシテハ將來ノ市街地信用組合ノ發展ニ付キマシテハ、出來ルダケノ力ヲ盡シテ、是ガ發展ニ資シテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス

先ヅ第一番ニ御話ニナリマシタ問題ニ付キマシテハ、大體信用組合ナルモノハ個人ノ組合ト云フコトニ、其ノ趣旨ガアルト思ヒマススケレドモ、御指摘ニナリマシタヤウナ色々ノ事情モ、洵ニ御尤モデアリマシテ、其ノ間ノ關係ハ十分ニ考慮致シマシテ、法人デアリマシテモ、或ル範圍ノモノハ之ヲ指定スルト云フコトハ、是非致サナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ大體ノ腹案ヲ持ツテ居リマス、銀行當局カラ更ニ其ノコトヲ御答ヘ申上ガタイト思ヒマス

○山際政府委員 現在ノ大體ノ腹案トシテ加入シ得ル法人トシテ定メタイ考ヘヲ持ツテ居リマスモノハ、商業組合、商業小組、工業組合、工業小組、自動車運輸商業組合、産業組合、是等ノモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙ホ其ノ外ニ只今モ御話ノゴザイマシタ有限會社ト小規模ノ會社

ヲ、之ニ加入サセルカドウカト云フ問題ガアルノデゴザイマス、是ハ原則論カラ申上ガマスルナラバ、市街地信用組合ガ一般庶民ノ綜合共同ノ金融機關デアルト云フ建前カラ申シマシテ、所謂營利會社等ヲ組合員トスルト云フコトハ、原則的ニハ如何カト云フ所モアラウト思フノデアリマス、只今御話ノヤウナ極メテ小規模ノ有限會社ト云フモノハ、其ノ實質ニ於テ個人ノ經營スル商工業等ト異ナラザル關係ニモアルヤウニ思ヒマス、是等ノモノニ付キマシテハ、實情ニ應ジマシテ、今後相當ニ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス

○山田(順)委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ諒承致シマシタ

次ニ第三十一條ノ點デゴザイマス、其ノ一項ニ「其ノ他命令ヲ以テ定ムル金融機關ヘノ預金又ハ金錢信託」ト云フコトガ規定サレテ居ルノデアリマス、銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル金融機關ト云フノハ、ドウ云フ金融機關ヲ御豫想ニナツテ居リマス、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思フノデゴザイマス

○山際政府委員 現在ノ腹案トシテ考ヘテ居リマス所ハ、銀行ノ外ハ、例ヘバ庶民金庫、産業組合中央金庫、信用組合聯合會ナドニ預金ヲ致シマスルコト、其ノ他信託會社、或ハ場合ニ依リマシテハ、今回法律案ノ御審議ヲ願ツテ居リマス銀行ガ、信託業務ヲ兼營致シマスル場合ニハ、其ノ兼營スル信託業務ノ方面、是等ノ方面ヲ豫想致シテ居リマス

○山田(順)委員 大體諒承致シマシタガ、私共ノ考ヘテ居リマスモノハ、市街地信用組合ト致シマシテ、先ヅ産業組合ノ中央金庫

ヲ對象トシテ考ヘテ居ルノガ、常識ノヤウニ思フノデゴザイマシテ、大體サウ云フヤウナ方向ニ持つテ行カレルヤウナ御趣旨ノヤウニモ考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ、私共ハ市街地信用組合ノ上部ノ機關ト致シマシテ、何トカ特定ノモノヲ將來考ヘル必要ガアルデハナイカト思フノデス、ソレハ何故カト申シマスレバ、今回ノ農業團體法ニ依リマシテ、産業組合中央金庫ト云フモノハ、農林中央金庫ト云フコトニ相成ルノデゴザイマシテ、農林中央金庫ト云フモノハ、農業者並ニ農業團體ノ生産擴充ノ上ニ、積極的ニ乗り出シテ行クト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、市街地信用組合ハ何トシテモ市街地ニ於ケル商業工業者ノ、産業並ニ經濟ニ彈力性ヲ與ヘテ行クト云フ趣旨ノ下ニ、特殊ナル營業ノ方針ヲ持つテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハ少クトモ將來、市街地信用組合全國二百八十六ノ上層ノ機關トシテ、十分ニ緊密ナル連絡ヲ持ち、而モ市街地信用組合ノ本然ノ使命ヲ達成スルヤウニ出來得ルヤウナ點ヲ考ヘテ貰ヒタイ、現在過程的ニ、經濟的ニ、今銀行局長サンノ言ハレルヤウナ點ヲ考ヘラレルコトモ、是亦當然ノコトノヤウニ考ヘラレマスルガ、將來永遠ノコトヲ考ヘマスレバ、茲ニ何等カノ特殊ナル關係ヲ考ヘテ戴イテ、此ノ市街地信用組合ガ、折角大藏省ニ所管サレタト云フ實力ノアル上層ノ機關ヲ、ソコニ考ヘテ戴キタイ、斯ウ思フノデゴザイマス

致シテ居ルノデアリマス、只今御話ノ如ク、今回農業團體ノ整備ニ關スル法律ガ實施致サレマスル結果ハ、産業組合中央金庫ハ農林中央金庫ト云フコトデ、其ノ性格ガ餘程ハツキリ方向ヲ示サレタヤウナ關係ニナルト思フノデアリマス、左様ナ關係ヲ考ヘマス時ニ、市街地信用組合ヲ何時マデモ産業組合中央金庫ト結付ケテ置クト云フコトニ付キマシテハ、理論上只今御指摘ノ如ク、再檢討ヲ要スル問題ガ生ジタト云フコトハ、蔽ヒ難イ事實デアアルト思フノデゴザイマス、併シナガラ何分ニモ現狀ニ於キマシテハ、直チニ之ヲ産業組合中央金庫ト切離シマスルコトハ、從來ノ取引關係ガ密接デアリ、又他ノ系統機關ニ俄カニ變更スルコトニ依ツテ、其ノ間ニ徒ラニ摩擦混亂ヲ生ゼシメル虞レガアリマス爲ニ、其ノ事ハ同時ニ又産業組合中央金庫ニ取ツテバカリデナク、市街地信用組合自體ニ取リマシテモ、此ノ際ノ措置トシテハ穩當デナイト考ヘマスルガ故ニ、斯様ナ立法ニ致シテアルノデゴザイマス、只今申上ゲマシタ通り、此ノ問題ハ確カニ將來研究ヲ要スル問題デアリマシテ、私共ノ心組ミト致シマシテハ、嘗ニ今後アルベキ農林中央金庫トノ關係ノミナラズ、或ハ庶民金庫トカ、或ハ商工組合中央金庫トカ、斯様ナ各種ノ機關ノ機能分野、ソレ等ノモノト市街地信用組合ノ事業トノ關係ヲ、綜合的ニ考慮ヲ致シマシテ、檢討ヲ進メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

組合ノ事業年度ハ四月ヨリ翌年三月マデ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ法律ガ議會ヲ通過シテ實施サレマスル際ニハ、事業年度ガ變リマスルノデ、ソコデ差當リ茲ニ支障ヲ來スノハ役員ノ任期ノ問題ニ相成ルノデゴザイマス、隨テ事業年度ガ變リマスカラ、臨時總會ヲ二度開クト云フコトニナルノデゴザイマス、即チ一例ヲ申上ゲレバ來年一月役員ノ任期ガ來テ居ル、併シナガラ事業年度ハ四月カラ三月ニ相成ルノデゴザイマスルカラ、ソコデ役員ノ任期ト云フモノニ付テハ、此ノ法律ヲ施行スル際ニ於キマシテハ、一月ノ役員ノ選舉ト云フモノヲ延長致シマシテ四月ト云フコトニ相成リマスレバ、三箇月間ノ延長ヲスルト云フコトニナリマス、サウスルト現在ノ市街地信用組合トシテ、運營上非常ニ工合ガ良ク行クヤウニ考ヘルノデゴザイマス、若シ全國ノ市街地信用組合ガ、サウ云フヤウナ方法ヲ採ル場合ニハ、大藏省ニ於テハドウ云フヤウナ取扱ヒヲ致シマスカ、此ノ一點ヲ御伺ヒ致シタイト存ズルノデアリマス

○阪田政府委員 只今ノ御尋ネニ對シテ御答ヘ致シマスガ、今回ノ法律ガ施行サレマシタ時ニ、現在ノ市街地信用組合ハ、當然此ノ新ラシイ法律ニ基ク市街地信用組合ニ代ル譯デゴザイマスガ、其ノ時ニ於キマス現在ノ役員ハ、其ノ儘新ラシイ組合ノ役員ト看做ス、斯ウ云フヤウナ規定ヲ施行ニ關スル勅令ニ入レル積リデゴザイマス、サウ云フ風ニシテ新ラシイ組合ノ職員ト看做サレマシタモノハ在任期間ダケ在任スル、斯ウ云フヤウナコトニ考ヘテ居リマス、其ノ役員ガ偶々御示シニナリマシタヤウナ來年ノ一月ニ任期ガ滿了スルト云フヤウナ場合デゴザイマスガ、之ニ付キテマシテハ、組合ノ組合長、理事、監事等ノ任期ヲ定メマシタ此ノ第十二條ノ第二項ノ規定デゴザイマスガ、此ノ規定ニ依リマシテ、任期ハ組合長理事ハ三年、監事ノ任期ハ二年、斯ウ云フ風ニ致シテゴザイマスガ、但シ定款ニ別段ノ定メガアル時ハ此ノ限りデナイ、斯ウ云フヤウナ一條ヲ設ケマシテ、大體組合ノ定款ト致シマシテハ、役員ノ任期ガ滿了シテモ、次ノ總會ナリ、總代會デ役員ガ選任サレテ、ソレガ認可ヲ受ケテ正式ニ就任スルマデ任期ガソレダケ延ビル、サウ云フヤウナ定款ノ規定ヲ各組合トモ設ケテ戴クヤウニスル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナヤリ方デ支障ナク行ケルト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 能ク了承致シマシタ、次ニ四十二條ノ點デゴザイマスガ、「市街地信用組合ハ總會ノ決議ヲ以テ他ノ市街地信用組合ト合併ヲ爲シ又ハ命令ヲ以テ定ムル金融機關ニ對シ事業全部ノ讓渡ヲ爲スコトヲ得」此ノ點デゴザイマスガ、此ノ命令ヲ以テ定ムル金融機關ト云フノハ、具體的ニ申シマスレバ、ドウ云フヤウナ金融機關ヲ指シテ居ルノデスカ、之ヲ一點御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○山際政府委員 只今腹案トシテ考ヘテ居リマスルコトハ、只今貴族院ニ於テ御審議ヲ願ツテ居リマスル普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律ガ施行セラレマス結果、貯蓄銀行業務ヲ營ム普通銀行ガ出來テ參ルノデアリマス、現在市街地信用組合ガヤツテ居リマスル仕事ノ實體カラ考ヘマシテ、若シモ組合の性質ニ

於キマスルヨリモ、普通ノ金融機關ノ姿ニ引直シタ方宜シト云フ場合ニハ、此ノ貯蓄銀行業務ヲ營ム普通銀行ト云フノガ、一番似合ヒノ機關デアリヤウニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ事業全部ノ譲渡ヲ必要トスルヤウナ場合ガ生ジマシタナラバ、此ノ貯蓄銀行業務ヲ營ム普通銀行ニ、ソレヲ譲渡セシメルノガ適當デハナイカト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 サウシマスト要スルニ今度ノ普通銀行ニ對シテ貯蓄並ニ信託、サウ云フヤウナコトヲ許ス法律案ガ出テ居リマスルガ、之ニ依ツテ將來市街地信用組合ノ中ノ或ル組合ヲシテ、サウ云フモノニ合併ト申シマスガ、統合サシテ行カウト云フ御趣旨ノヤウニ伺ツテ居リマスガ、現在大藏省デ御調ベニナツテ居ルコトデ、ソレ等ノ内容等ハ御存知ト思ヒマスガ、二百八十六ノ市街地信用組合ノ中デ、差當リサウ云フヤウナ方面ヘ吸収統合ト云フト誤解ガアルカ知レマセスガ、合併シタ方宜イト云フヤウナ御見込付イテ居ル組合ガアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒテ致シマス

○山際政府委員 只今ノ考ヘテ申シマス、直チニ此ノ規定ノ適用ヲ待ツ適當トスル組合ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、唯、今後事態ノ變遷ニ應ジマシテ、或ハ斯カル取扱ヲ致シマシタ方ガ、實際ニ合フト云フ場合ガ生ジ得ルカモ知レナイト考ヘマシテ、豫メ此ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス
○山田(順)委員 次ニ第六十三條ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、大體市街地信用組合ヲ除イテ他ノ信用組合ガ市街地信用組合ノ許可ヲ受ケルノニハ、總會ノ決議ニ依ツテ市街地信用組合ナルノデアリマ

ス、ソコデ現在准市街地信用組合ガアルノデゴザイマスガ、本法ノ施行ニ當ツテ准市街地信用組合ト云フモノヲ、大藏省ト致シマシテハ積極的ニ改組シテ、サウシテ市街地信用組合ニスルト云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマセウカ、ソコデナゼ斯ウ云フコトヲ申シマスカタ云フト、只今審議サレツツアリマス所ノ農業團體法ノ第十五條ニ左ニ掲グル者ハ市町村農業會ノ會員ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者ガ法人ナルトキハ命令ヲ以テ定ムル法人ニシテ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル

一其ノ地區内ニ住所有スル者ニシテ農業ニ密接ナル關係ヲ有スルモノ、二、其ノ他命令ヲ以テ定ムル者、道府縣農業會ノ地區内ニ住所有スル法人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ當該道府縣農業會ノ會員ト爲ルコトヲ得、ソコデ准市街地信用組合ト云フモノハ、大體縣ニ於キマシテモ大キナ町ガ准市街地信用組合トシテ今日産業組合法ニ依ツテ、是ガ運営サレテ居ルノデゴザイマス、サウ致シマスルト、農林大臣ガ其ノ町内ニ住居シテ居ル所ノ農業關係者ト云フモノニ對シテ、此ノ農業團體ノ方ヘ指定スルコトノ權利ヲ持ツテ居リマスカラ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、本法ガ施行サレル際ニ於キマシテ、准市街地信用組合ノ現在ノ組合ヲシテ、市街地信用組合ニ移行サセル點ニ付テ、多少ソコニ摩擦ガアルノデハナイカト考ヘルノデゴザイマシテ、尙ホ一ツハ將來市街地信用組合トナルベキ要素ヲ持ツテ居ル其ノ縣下ニ於キマスル町ノ現在ノ所謂産業組合法ニ依ル信用組合、ソレ等ノ今後ノ發達助成ノ上ニ於キマシテモ、ソコニ多少ノ行違ヒガ出テ來ルノデハナイカ、斯ウ

云フコトヲ考ヘマスルト、ソコニ大藏省ト農林省トノ間ニ緊密ナル折衝ヲ持ツテ、是ハ將來市街地信用組合トシテ發達スベキモノデアアル、是ハ農村ノ所謂農業團體ニ將來統合スベキ所ノ農業會ニ入ルベキモノデアルト云フヤウナ點ニ付テ、相當ニ検討シテ行ク必要ガアルト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハ局長サンハドウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカ

○山際政府委員 市街地ニ於キマスル信用組合ト致シマシテハ、將來ハ所謂此ノ市街地信用組合ガ中心ニ發達シテ行クベキモノデアラウト思ヒマスルガ、農村方面ニ於キマシテ市町村農業會ノ關係ガ、ソコニ出テ參リマシテ、具體的ニ市街地信用組合ト此ノ市町村農業會ト、ドチラデ解決スルノガ適當デアラカト云フ中間的ナ部分ガ、ドウシテモソコニ殘ルト云フコトハ、御指摘ノ通りデアルト思フデアリマス、是ハ只今御話ノ如ク、農林當局ト大藏當局トガ、最モ緊密ニ連絡ヲ致シマシテ、只管實情ニ應ジテ組合員ノ便益ト云フ見地カラ、果シテ市街信用組合ノ取扱ヲスルノガ宜シイカ、市町村農業會ノ信用事業ノ方ニ加入サセル方ガ宜イカ、是ハ正ニ適當ニ判斷スベキモノト思フノデアリマス、段々兩法律案ノ關係ニ付キマシテ、農林當局トモ協議ヲ續ケテ居リマスノデ、實際ノ此ノ法律ノ運用ニ當リマシテハ、只今ノ御指摘ノ點ニ關シマシテ、一段ト緊密ニ連絡ノ下ニ、無理ノナイヤウナ取扱ヲ致シマシテ、兩方ガ重複シテ徒ニ事務ガ煩雜ニナルトカ、或ハ兩方カラ取殘サレテ、ソコニ便宜ガ供與サレナイトカ、サウ云フ事態ノ起リマセヌヤウニ、十分注意ヲシテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 是ハ條項ニハゴザイマセヌガ、一ツ此ノ際伺ツテ置キタイノデゴザイマスガ、從來市街地信用組合ガ結成サレテ居リ、サウシテ其ノ行政區域ト云フモノガ擴大サレテ行ツタ、所謂隣接ノ町村ガ市ニ合併ヲサレタ、ソレデ從來隣接ノ町村ニ産業組合ガ出來テ居ルガ爲ニ、今日デハ一行政區域内ハ、少クトモ市街地信用組合ノ組合員ヲ其ノ區域内ニ擴大シテモ差支ナイヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスガ、今日ノ實情デハ是ガ事業區域ノ擴張ガ積極的ニ取扱ハレテ居ナイノデゴザイマスガ、將來此ノ點ニ付テ、大藏當局ハドウ云フ風ナ御考ヘヲ指ツテ居リマスルカ、御伺ヒ致シタイ

○阪田政府委員 最近方々デ市制施行地ガ段々區域ガ擴張サレル、斯ウ云フヤウナ問題ガアリマシテ、其ノ場合ニ、農村産業組合ガ市ノ區域内ニ包攝サレル、斯ウ云フ問題ガ一方ニ起リマス同時ニ、市街地信用組合ノ區域ガ、ソコマデ擴張シテモ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ問題ガ一方デ起ツテ來ル譯デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ、從來ノ取扱ト致シマシテハ、ヤハリ市街地内ノ實情ニ着目致シマシテ、市制施行地ト云ヒマシテモ、實際ニ於キマシテハ、農業者ガ主デ、商工業者ガ比較的少イ所ノ農村地帶ト云フベキ場所ガ、相當アリマスカラ、サウ云フ地帶ニ對シテハ區域ノ擴張ハ認メナイ、併シナガラ實情ガ商工業者其ノ他勤勞者トカ、サウ云フ者ノ相當密集シテ住ンデ居ル地帶デ、市街地ト云ツテモ宜イ、斯ウ云フ土地デアリマスレバ、新市域ニ包含サレタモノニ付キマシテハ、市街地信用組合ノ地區ノ擴張ヲ、積極的ニ認メテ行キタイ、斯ウ云フヤウナ方針デ參ツテ居ツタ譯

デアリマス、今回此ノ新法ニ依リマス市街地信用組合ニ付キマシテハ、ヤハリサウ云フ方針ノ延長ト致シマシテ、市制施行地或ハ指定市街地トカ、サウ云フ風ナ所デハ、形式的ノ標準バカリニ頼ルコトナク、實質的ニ一團ノ市街地ヲ成シテ居ル區域ガ、市街地信用組合ノ區域ニナルヤウニ進メテ行キタイ、斯ウ云フヤウナ考ヘデアリマス

○山田(順)委員 最後ニ一點御伺ヒシタイコトハ、普通銀行乃至ハ信託會社、或ハ無盡會社、是ハ其ノ要員ニ付テハ勞務調整令ノ第七條ノ二號ニ依リ、應召乃至ハ徵用サレテ居ル、即チ勞務調整令カラ指定ラ受ケテ居ルノデゴザイマス、隨テ應召シテモ徵用サレテモ、ドン／＼補充ガ附クヤウニ相成ツテ居ルノデゴザイマスガ、獨リ市街地信用組合ハ指定サレテ居リマセス、隨テ應召乃至ハ徵用サレマシテモ、是ガ職員ノ補充ニ非常ナ困難ヲ生ジテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ニ付テハ勿論厚生省ノ所管デハゴザイマスガ、大藏省ト致シマシテハ、ヤハリ金融機關ト致シマシテ、普通銀行、信託乃至ハ無盡會社ト同様ニ取扱ハレルヤウニ、厚生省ノ方ニ然ルベク交渉シテ裁キタイト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハ大藏省ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマカ

○山際政府委員 金融機關ノ從事員ノ應召徵用ノ際ニ於ケル補充ノ問題デアリマスガ、只今御指摘ノデゴザイマシタ通り、現在ノ事態ニ於キマシテハ、普通銀行、信託、無盡會社等ニ付キマシテハ、比較的優遇ノ方法ガ講ゼラレテ居ルノデゴザイマス、時局下金融機關ガ果サネバナラヌ仕草ハ、愈々重大

ヲ加ヘテ參リマス次第デアリマスカラ、私共ノ考ヘト致シマシテハ、是非其ノ補充ノ道ヲ金融機關ニ及ボシタイ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、殊ニ市街地信用組合ハ、最近ノ情勢ニ於キマシテ、國民貯蓄増強其ノ他ノ點ニ於テ、重要ナル一翼ヲ擔ヒツツアルノデアリマスカラ、是非トモ是ハ一般ノ金融機關ト同様ノ取扱ガ出來マサルヤウニ、吾々トシテハ致シタイ考ヘヲ持ツテ居リマス、唯果次ノ勞務管理當局トノ交渉ニモ拘ラズ、未ダニ實現致シテ居リマセスコトハ、私共モ亦遺憾トスル所デアリマスガ、今後絶エズ實情ヲ説明致シ、其ノ必要性ヲ認識シテ貫ヒマシテ、極力其ノ趣旨ガ達成出來マスヤウニ絶エズ努力ヲ續ケタイト考ヘマス

○山田(順)委員 一ツ取殘シマシタカラ、モウ一ツ附加ヘテ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、第十章ノ雜則ノ五十三條デゴザイマスガ、「主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ヲシテ本法ニ定ムル職權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得」大體今日マデ市街地信用組合ノ運営ニ當ツテハ、定款其ノ他配當率一切ノコトハ、地方長官ニ委任サレテ居ツタノデゴザイマスガ、今回ハ此ノ雜則ニ依リマスルト、主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ヲシテ本法ニ定ムル職權ノ一部ヲ行フトナツテ居ル、其ノ職權ノ一部ト云フノハ、ドウ程度ヲ指シテ申シテ居リマスルカ、此ノ點ヲ具體的ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○山際政府委員 第五十三條ノ適用ニ關シマシテハ、私共ノ腹案ト致シマシテハ、出來ルダケ多クノ事項ヲ地方長官ニ委任致シタイト考ヘテ居リマス、即チ定款變更ノ認可、事業方法變更ノ認可、業務ニ關スル報告ノ徵求、帳簿書類等ノ提出、業務及ビ財産ノ狀況ノ検査、是等ノ事柄ハ地方長官ニ委任致シタイ考ヘデアリマシテ、主務大臣ニ於テ留保致シマスルノハ設立ノ問題、合併ノ問題、或ハ又必要ニ應ジテ検査權限ノ問題、ソレ等ノ極ク主要ナル點ノ之ヲ留保致シマシテ、他ハ成ベク事務ノ簡素化ヲ期スル爲ニ、地方長官ニ委任致シタイト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 能ク了承致シマシタ、私ノ質疑ハ之ヲ以テ終リタイト思ヒマス

○山本委員長 田中君

○田中(藤)委員 只今ノ質問ニ依ツテ私ノ聽カント欲スル所ハ、大體明カデアリマスカラ、私ハ簡單ニ二三ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、先ツ法人組合員ノ問題デ御伺ヒシタイコトハ、有限會社ニ付テハ考慮スルト云フコトデアリマシタガ、一步進ンデ二十萬圓未滿ノ株式會社ヲ、法人組合員トスル意思アリヤ否ヤ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○山際政府委員 實ハ現在ノ腹案ニ於キマシテハ、有限會社ヲ更ニ進メマシテ、資本金二十萬圓以下ノ會社ト云フ所マデ擴張スルノガ宜イカドウカト云フ點ニ關シマシテハ、決定的ナ意見ヲ持ツテ居ラスノデゴザイマス、實情ニ鑑ミマスレバ或ハソレ等ノモノト雖モ、市街地信用組合ノ組合員タルニ相應シイモノモアラウカトモ思ヒマスガ、尙ホ是ハ篤ト實情ヲ考慮致シマシタ上デ、將來適當ニ考ヘタイト存ジマス

○田中(藤)委員 次ニ御伺ヒシタイコトハ、四十二條デ貯蓄銀行ヲ營ム普通銀行ニ對シテ、信用組合ノ營業ト申シマスカ、事業ヲ命

令ニ依ツテ全部讓渡セシムルコトガアリ得ルト云フ御答辯ガアツタヤウデアリマスガ、此ノ點ハ可ナリ重要ナ問題ダト思ヒマス、言換ヘルト貯蓄銀行ノ活動分野ト信用組合ノ活動分野ガ、ドウダト云フ根本問題ニナルノデハナイカト思ヒマス、私申上ゲルマデモナク、貯蓄銀行ハ營利會社デアアル、信用組合ハ謂ハバ公益法人デス、公ノ團體ナデス、而モ公ノ團體ノ事業ガ、營利會社タル銀行ニ讓渡セラレルト云フコトヲ豫想シテノ立法ダト云フコトハ、ドウモ此ノ活動分野ノ問題デ、可ナリ重大ナ問題ガ起ルト思フ、ソコデ私ハ此ノ點ニ對シテ、信用組合ノ活動分野ガドウダトカ、銀行ノ活動分野ガドウダト云フコトヲ、ハツキリ明示セラレンコトヲ望ミマス、此ノ點ニ關スル先ツ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○山際政府委員 申スマデモナク市街地信用組合ハ、相互共同組織ニ依ル金融機關デゴザイマス、又貯蓄銀行ハ只今御示シノ如ク、株式組織ニ依ル金融機關デゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ組織カラ來マス根本的ナ差違ガ、ソコニ存スルト思フノデゴザイマシテ、市街地信用組合ノ組合員ノ總意ト云フモノニ依ツテ、其ノ仕事ガ進メラレテ參リマス限り、貯蓄銀行ノ取扱ヒマスル仕事ノ分野トハ、性質上ソコニ範圍ガハツキリ分レテ居ルヤウニ思フノデゴザイマス、然ラバ何故斯カル規定ヲ豫メ設ケタノデアアルカト云フ問題ガ起リ得ルト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ市街地信用組合ガ、何處マデモ共同組織タル特質ヲ失ハズニ益々業態ガ發展シテ參ルコトハ吾々ガ最モ之ヲ期待シ、且ツ助長致シタイ點デアリマスケレ

ドモ、將來其ノ地域其ノ經濟事情等ノ變遷ニ依リマシテ、或ハ市街地信用組合ガ、組合組織タル實態ヲ失フト云フ場合ガ、今後場合ニ依ツテハ起リ得ルノデハナイカト云フコトヲ、極ク稀デアリマスガ豫想シ得ルト思ヒマスノデ、斯様ナ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、本來ノ建前ハ、何處マデモ市街地信用組合ガ、其ノ共同組織タル實體ニ基キマシテ特質ヲ發揮シテ、益、發展センコトヲ期待シテ居ル次第デアリマス

○田中(藤)委員 御答辯ニ依ツテ大體了承致シマシタ、只今御答辯ニアツタ如クニ、組合ノ活動分野ハハツキリ致シテ居リマス、之ヲ普通銀行ニ讓渡スルガ如ク豫想サレ得ル限り問題ダト思ヒマスガ、斯ウ云フコトハ斷ジテナイヤウニ、御願ヒラ致シタイト思ヒマス

次デ御伺ヒ致シタイコトハ、先程現在ノ市街地信用組合デ、差當ツテ整理統合スルモノハナイト云フ御答辯デアツタヤウデゴザイマス、大變是ハ結構ダト思ヒマスガ、一昨日ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依リマス、第四十二條ノ規定ニ依ツテ、市街地信用組合ノ整理統合ヲ促進スルノダト云フ風ナ御説明ガアツタト思フノデアリマス、ソコデ此ノ點大藏大臣ノ御考ヘト只今ノ局長サンノ御考ヘトニ、多少喰ヒ違ヒガアルノデハナイカト云フ感ジガアリマスノデ、此ノ點ヲ更ニ明カニ御示シラ戴キタイト思ヒマス

○山際政府委員 過日此ノ法案ヲ大藏大臣ガ御説明申上ゲマシタ際ニ、整理統合ノ問題ニ觸レマシタノハ、第四十二條ノ第一項ノ前段ノ關係ヲ、主トシテ申上ゲタノデゴザイマス、即チ他ノ市街地信用組合ト合併ヲ致シマシテ、此ノ事業ノ益、能率ノ増進ヲ圖

リ、其ノ使命ノ達成ヲ援助スル、斯様ナ意味合ニ於テ申上ゲタノデアリマシテ、後段ノ事業讓渡ノ點ハ實ハソレ程ノコトニ考ヘテ居ラスノデゴザイマス

○田中(藤)委員 サウスルト市街地信用組合相互ノ間ニ於ケル合併ト申シマスガ、整理統合ニ付テハ、ヤハリ御考ヘガアルヤウデゴザイマスガ、若シサウシタ御考ヘガアルトスレバ、如何ナル方針ヲ以テ整理統合、或ハ合併ヲ指導セラレルカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデゴザイマス

○山際政府委員 具體的ノ場合ト致シマシテハ、色々事例モアルノデゴザイマス、例ヘバ其ノ地域ガ競合致シテ居リ、組合員ガ重複シテ兩組合ニ加入シテ居ル、或ハ又兩組合カラ競争ノナ勸誘ガ行ハレテ居ツテ、ソコニ人的ニモ物的ニモ無駄ガアルト云フヤウナ事例モ、時折見受ケラレルヤウデアリマシテ、左様ナ場合ガ此ノ合併統合ノ結果、能率増進ト云フコトヲ最モ期待シ得ル事例デハナカラウカト思ツテ居リマス

○田中(藤)委員 御説明ハ能ク分ツタノデアリマスガ、併シナガラ信用組合ト云フノハ、申スマデモナク中産市民ノ所謂大衆のナ金融機關デアリマス、而モ其ノ團體ハ所謂隣保團結ト申シマスガ、人ト人トノ繋ガリ、小規模ノ社會的集團ニ依ル金融機關デアルト思フノデアリマス、而モサウシタ隣保のナ性格ガ、十分金融機關トシテノ使命ヲ果シテ居ル譯デアリマス、而モ斯ウシタモノガ血ノ繋ガリノナイ他ノ組合ト統合サレルト云フコトニナレバ、ソコニサウシタ人的の要素ヲ失フコトニナリマシテ、水臭イ團體ガ出來上ル、サウスルト普通銀行ト同ジヤウナコトニナリハシナイカト云

フコトヲ、先ヅ惧レル譯ナノデアリマス、又現在各銀行ニ於テハ支店等ノ店舗ノ増加ヲ御認メニナツテ居ルヤウデアリマス、即チ預金吸收ノ第一線機關トシテ大イニ國策ニ順應スベキデアルト云フ建前デアルカト、私ハ存ジテ居リマスガ、斯ウ云フ見地カラ申シマシテモ、零細ナル大衆資金ヲ吸收スルニハ、ヤハリ斯ウシタ血ノ繋リノ隣保團結トモ言フベキ信用組合ナドガ、最モ適當デハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味カラ申セバ、相當今回數ノ多イ信用組合ガ、利用如何ニ依リマシテハ其ノ成績ヲ擧ゲ得ル、國策順應ニ依ツテ大衆預金ヲ吸收シ得ルト存ズルノデテリマスガ、其ノ點ニ付テモ更ニ御所信ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 市街地信用組合ガ、所謂血ノ繋リノアル隣保のナ共同團體トシテ、時局下貯蓄吸收等ノ重要ナル役割ヲ果シテ居リマスコトハ、洵ニ御説ノ通りト考ヘマス、隨ヒマシテ私共ト致シマシテハ、此ノ法律案ニ依リマシテ益、其ノ發達助長ヲ促シ、其ノ使命ヲ愈、達成セシメシコトヲ期シテ居ル次第デゴザイマス、隨ヒマシテ先程來合併ノコトガ問題ニナツテ居リマスケレドモ、私共ト致シマシテハ合併ヲ致シマス結果、此ノ組合ノ本質デアアル隣保共同團體タル特質ヲ失フヤウナコトガアリマシテハ、是ハ市街地信用組合自體ノ自殺行為デアルト思フノデゴザイマス、隨ヒマシテ例ヘバ合併ヲ致シマスヤウナ場合デモ、果シテ其ノ結果能ク隣保の特質ヲ維持シ得ルノミナラズ、益、之ヲ發展シ得ルヤ否ヤ、是ガ重要ナ判斷ノ觀點ニナラウカト思フノデゴザイマシテ、徒ラニ私共ハ合併シテ市街地信用組合ノ規模ヲ強大ナラシメルコトヲ以テ、今後市街地信用組合ノ進ムベキ方向トハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、何處マデモ其ノ特質ヲ活カシマシテ、能ク此ノ時局下重要ナル金融機關タル使命ヲ果サセテ行キタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○田中(藤)委員 私共ト全ク同ジヤウナ考ヘノ御答辯ヲ戴キマシテ、結構デゴザイマス、是非サウシタ信用組合ノ血ノ繋ガリノ所謂隣保團結タル最小預金吸收機關ダ、大衆ノ金融機關ダト云フ點ヲ特ニ御酌ミ戴イテ、將來サウシタ問題ガ假ニアリマシテモ、營利會社ノ整理統合ナドト同一視セラレスヤウ御願ヒシタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○山本委員長 本案ニ付テハマダ一人質問者ガアリマスガ、丁度席ニ居ラレマセヌカラ、之ヲ留保致シマシテ其ノ次ニ移リマス外貨債外二件ニ付テ質問ノ方ハオアリデスカトナイヤウデスカラ他日ニ讓リマス

ソレデハ證券取引所法案ニ付テハ大體済ミマシタガ、尙ホ大臣ノ御出席ヲ求メテ御質問ノ方ガアリマスカラ、是ハ明日午後一時カラ左様ニ取計ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時四十分散會

昭和十八年二月七日印刷

昭和十八年二月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局